

【史料紹介】

「小説と讀物」「苦楽」「小説界」——中間小説誌総目次

List of contents of *Shosetsu to yominono*, *Kuraku*, and *Shosetsukai*

小嶋洋輔・西田一豊・高橋孝次・牧野 悠

KOJIMA Yousuke, NISHIDA Kazutoyo, TAKAHASHI Koji and MAKINO Yu

要旨 本研究事業は近代史の中で最も読まれたジャンルでありながら、定義が確定してこなかった中間小説について見直し、「現象」として捉えることで新たな中間小説像を構築することを目的としている。その目的を達成するため、具体的には以下の三種の解明を目指している。それは①中間小説誌が如何なる雑誌メディアであったかの解明（資料の保存・公開）、②中間小説誌編集の戦略の解明、③中間小説誌読者の位置づけ、とまとめられる。この解明を行うに、有効かつ重要な作業といえるのが、表紙、目次構成、挿絵、読書欄、編集後記の調査である。こうした実際の雑誌を手にとつての調査は、雑誌編集の戦略の抽出、また中間小説各誌の性格の明示につながる。本「史料紹介」は、昭和二〇年代に創刊し、消えていった中間小説誌である「小説と讀物」、「苦楽」、「小説界」の目次を公開するものである。この三誌は資料の保存・公開が完璧には成されていない中間小説誌としてある。

【凡例】

- ・各総目次は、創刊年次順とした。
 - ・各総目次は、原本の記載を尊重し、頁順に改めず、目次の記載順や配置をそのまま生かすよう努めた。
 - ・目次の記事名に附された「惹句」は、煩雑を避けるためこれを省略した。
 - ・カット・挿絵画家名は、目次に記載がない場合、原則としてそのままとした。
 - ・頁数の表記は、漢数字に統一した。
 - ・仮名遣い・送り仮名はそのままとし、誤字脱字誤植と判断されるものは、本文と校合の上、校訂した。
 - ・常用漢字表に含まれる漢字の字体は、一部の固有名詞を除き、原則的に常用字体に改めた。
 - ・校訂の際は、「」（角括弧）で示し、角書きは「角」、横書きは「横」などと略記した。
 - ・注記が必要な場合は、一号ごとにまとめて記載した。
- ・各総目次は、創刊年次順とした。
 - ・各総目次は、原本の記載を尊重し、頁順に改めず、目次の記載順や配置をそのまま生かすよう努めた。
 - ・目次の記事名に附された「惹句」は、煩雑を避けるためこれを省略した。
 - ・カット・挿絵画家名は、目次に記載がない場合、原則としてそのままとした。
 - ・頁数の表記は、漢数字に統一した。
 - ・仮名遣い・送り仮名はそのままとし、誤字脱字誤植と判断される

「小説と讀物」総目次

概略

【発行期間・総冊数】昭和二十一年三月～昭和二十五年十月（昭和二十四年七月～一二月無し）・全四十一冊（別冊含む）

【刊行頻度・判型】月刊・A5判

【発行所】株式会社桜菊書院（第一巻第一号～第四巻第四号）。所在地は東京都渋谷区千駄谷四の七三七番地。次いで株式会社上田書房（第五巻第一号～第五巻第六号）。所在地は東京都渋谷区千駄谷四の八一八。

【編集人・発行人】編集人の推移は森本富蔵（第一巻第一号、第一巻第二号）、上田健次郎（第一巻第三号～第二巻第七号）、夏目伸六（第二巻第八号～第四巻第二号）、谷井正澄（第四巻第三号）、平岩正男（第四巻第四号）の順となる。その間の発行人（兼印刷人として）は森田光男がつとめている。そして、第五巻第一号～第五巻第三号（奥付に通巻通号は消えるが便宜的に付す）まで編集人兼発行人として上田健次郎がつとめ、第五巻第四号～第六号は勝田豪が編集人、上田健次郎が発行人の体制となる。

【印刷人・印刷所】印刷所は創刊から昭和二十四年六月まで大日本印刷株式会社。所在地は東京都牛込区市谷加賀町一の一。昭和二十二年三月一五日に新設合併され牛込区は新宿区となる。次いで

昭和二十五年一月から終刊まで共同印刷株式会社。所在地は東京都文京区久堅町一〇八。大日本印刷株式会社期は森本光男が発行人兼印刷人をつとめ、次いで共同印刷株式会社期、印刷人は大橋芳雄がつとめた。

【概要】「小説と讀物」が目指した雑誌像は、創刊から一年二か月巻末に付された「編集後記」を読めば明らかである。「大衆文学の左、純文学の右」といふやうな便宜的な狙ひを、われわれはしてゐるのではない。「よきものはただ一種」といふのが、われわれの固い信念なのである（第一巻第七号）という言葉からは、「よき」作品掲載を目指す姿勢が見て取れる。またその「よきもの」に説明を付し、「今まで日本の文学で不当に軽視されてきた小説に於ける筋の面白さといふものに、正当な地位を与えて貰ひたい」とも述べる。さらには「筋の面白さ」とは「作品の浸透性」の意味であるともいう（第二巻第一号）。

紙面構成からも、その小説を中心とするという意図は見取れる。創刊号には菊池寛の随想、第二巻第一号から第十号までは尾崎士郎の「人生劇場（夢現篇）」を置くなど、ある種の「目玉企画」を中心に据え、そこから紙面を構成している。ただこうした理念・構成は「小説と讀物」全四十一冊全体を通していえるものではなく、編集人の交代で変化する雑誌としてもこの「小説と讀物」はある。

最初の発行所である桜菊書院および、創刊に至る経緯については矢口進也『漱石全集物語』（青英舎 昭和六〇・九）に詳しい。発行人森本光男は「戦時中、伊勢神宮など神社仏閣の参拝団を編成して送り出す旅行会社」、桜菊会の会長であった。桜菊会は「皇室関

係」の出版物も扱っていたため、「豊富な用紙割当をうけ終戦時には九〇万ポンドとも一〇〇万ポンドともいわれる龐大な用紙を保有」できたという。この龐大な用紙でもって戦後桜菊書院となり、岩波書店と競うかたちで『夏目漱石全集』を刊行したのである。そしてこの『漱石全集』の編集者として、文藝春秋社から引き抜かれたのが、後に両者とも「小説と讀物」の編集人となる上田健次郎と漱石の次男夏目伸六であった。なお編集人に関して上田、夏目の他に四名の編集人がいるが、その詳細は不明である。

森田・上田・夏目が編集人を務めている間の誌面は、「よき」小説を中心とする理念により構成されているといえる。挿絵の充実もその一例といえる。そして、その理念の現実化の方策として「小説と讀物」が掲げたのが、「夏目漱石賞」だった。だが、夏目伸六が退く第四卷第三号から、その構成は大きく様変わりしている。その変化を一言でいうならば「讀物」の充実である。第三号の編集後記には「名実ともに「小説と讀物」の二本建てで進む事になりました」と記されている。だがこうした挺入れは功を奏さず、「小説と讀物」は廃刊、桜菊書院の手から離れることになる。

その後半年の空白を経て昭和二十五年一月、上田書房から「小説と讀物」は復刊する。これについては上田自身の文章である「三盃座談会のところ」(内田百閒『居候勿々』旺文社文庫 昭和五九・二)に詳しい。それからわかることであるが、「讀物」の比重の増加はあれど、昭和二十五年に刊行された六号は創刊当初の理念・構成を目指している。立ち消えになっていた第二回「夏目漱石賞」受賞者の発表もそのあらわれといえる。

「小説と讀物」廃刊に至る事情は内田百閒の随筆「いすかの合歡」

(「小説新潮」別冊 昭和二六・一)に詳しい。「三盃座談会」にぞんだ百閒が金の無心を社長に依頼しようとしたのだが、逆に会社が手形の不渡り間際という危機的な状況にあることを告げられている。「いすかの合歡」には上田書房の切迫した状況がコミカルに映し出されているが、事実廃刊は急なものであったようだ。終刊号に「次号予告」があることからそれもそれはわかる。

第一卷第一号 昭和二十一年三月一日発行

三月創刊号 目次

表紙……岩田専太郎

サボタージユ三態(表紙二)……加藤悦郎

時の言葉……菊池寛(二)

小説

夜の輻射線……大下宇陀児(四)

青い手袋……堤千代(一六)

炭焼の歌……加藤武雄(三〇)

ゆびきり……泉本三樹(五三)

春ひざし……鮎沢浩(四四)

コント 明るい窓を求めて……武野藤介(四〇)

アメリカの横顔……村山猶吉(二七)

もののはじめ……(四三) 尖端……(五二) 笑顔……(六三)

漫画 桜老人譚……岸丈夫(三九)

カット……長谷川三千春

〔総六四頁 定価一円二十銭〕

第一卷第二号 昭和二十一年四月一日発行

四月号 目次

表紙……岩田専太郎

漫画(無警察時代)……加藤悦郎

漫画(桜老人譚)……岸丈夫

ある長篇のプロット……菊池寛(二二)

小説

滝口入道の恋……舟橋聖一(四)

呪縛……木々高太郎(八四)

自由の灯……長谷川幸延(四九)

紅筆……堤千代(三〇)

極楽とんぼ……玉川一郎(七〇)

谷間の灯……松井翠声(六四)

デモクラシースケッチ……住田由太郎(四二)

愉しきGI……小林福吉(八二)

街の人気者(映画物語)……(二四)

ある女の手紙……(六三)

スポーツ界ニュース……(九三)

映画界ゴシップ……(七四)

音楽は儲りますか……(四二) ものしり帖……(六二)

尖端……(四八)

目次 カット……長谷川三千春

〔総九六頁 定価二円八十銭〕

第一卷第三号 昭和二十一年五月一日発行

五月号 目次

表紙……岩田専太郎

香妃の妹……林房雄(二)

象鼻……舟橋聖一(二〇)

今年の花……真杉静枝(四七)

豪壮竹伝来記……徳川夢声(三六)

若い人達……芹沢光治良(七四)

脱兎……丹羽文雄(八八)

舶来コント二篇

食人種……A・アヴェルチエンコ(八三)

落雷……H・ブエルバグ(八六)

長谷川一夫の人氣……洪沢秀雄(四四)
実用英語講習会……ささきふさ(四〇)

わが師・わが父

漱石雑話……内田百閒(三〇)

父と子供たち……夏目伸六(三五)

さ迷へる東京(絵と文)……生沢朗(一八)

村の窃盗団……阿部真之助(六四)

楽しきGI(キヤバレーの巻)……小林福吉(六六)

漫画(夢)……清水崑(六二)

私と政治……古賀忠道／長谷川春子／巖本真理／牧野富太郎／河野
糸子(六八)

〔総九六頁 定価三円〕

第一卷第四号 昭和二十一年七月一日発行
六・七月号 目次

小説

齒楊子盗人……久米正雄(二)

竹藪の前……永井龍雄(四二)

ぼたもち……美川きよ(二二)

刑事と木蓮の花……浜本浩(六四)
春のソナタ……芹沢光治良(八三)

随筆

蓬草紙……森田たま(三三)

望遠鏡受難……野尻抱影(五六)

新樹の頃……中村汀女(六二)

ユーモアコント三篇……ウイリー(七六)

最近のアメリカ映画……小林福吉(七四)

現代劇展望……東郷静男(八四)

服飾考現学(絵と文)……生沢朗(五三)

ネズミを捕らう(漫画)……麻生豊(八三)

表紙……岩田専太郎

〔総九六頁 定価三円〕

第一卷第五号 昭和二十一年八月一日発行
八月特大号 目次

表紙……岩田専太郎

妖魚……林房雄(六)

都の錦……今東光(五四)

二つの箱膳……大谷藤子(二二六)
珍客……勝田豪(三四)
白鸚鵡……松岡讓(一二七)

をんなたち アンドレ・モオロア

イレエヌ……(一〇六) 跳ねかへり……(二〇八)

ケエト……(一一〇) 手紙……(一一二)

名誉……(一一三) コリント風のポオチ……(一一五)

詰碁新題……(四九) 詰将棋新題……(四九)

文壇ゴシツプ……(八二)

見る・聞く・読む

新居格……(二四) 富安風生……(二一七)

村井米子……(一二六)

一休の書……武者小路実篤(一一八)

南瓜の花……宮田重雄(一二二)

蜩三日……星野立子(三一)

餓鬼道日記……内田百閒(四六)

山二題(絵と文)……生沢朗(七〇)

日本映画の荒廃……津村秀夫(二三)

夜の沈丁花……水谷準(八三)

脅迫状……海野十三(九四)
ふるさとの記……加藤武雄(七二)

目次・挿絵……宮田重雄

〔総一四四頁 定価五円〕

第一卷第六号 昭和二十一年九月一日発行
九月号 目次

表紙……岩田専太郎

汽車の中の子供……坪田譲治(二二)

再会……榊山潤(二)

八重歯……外村繁(一二)

江戸のゆふだち……宇野信夫(四四)

夢いまだ消えず……木々高太郎(六六)

珍饌記……佐藤垢石(三四)

あの人この人……内田誠(三八)

ステージドア(漫画)……杉浦幸雄(六四)

車内風景(漫画)……村山しげる(六一)

石鱈の話(コント)……武野藤介(六四)

映画時評……津村秀夫(三三)

移動演劇の現況……佐久間茂高(四三)

それは彼女であつた(中村白葉訳)……チエーホフ(五四)
三児(伊藤貴磨訳)……謝冰心(六二)
家(算田尚訳)……モオロア(五九)

目次カット……宮田重雄

〔総九六頁 定価三円五十銭〕

第一卷第七号 昭和二十一年十月一日発行
十月号 目次

表紙……岩田専太郎

旅路の終り……林房雄(六)

洗濯女……井上友一郎(二八)

瀧子……梅野彪(八五)

父の幸福……日吉早苗(四二)

機関車……丹羽文雄(九六)

詰碁新題……本因坊薫和(三八)

詰将棋新題……塚田正夫(三八)

映画時評……津村秀夫(六九)

生き残つた者……武者小路実篤(五五)

龍涎香記……野尻抱影(六〇)

物置……渋沢秀雄(六六)

会話(喜多荘太訳)……F・カリンシー(七〇)
官僚(喜多荘太訳)……M・ゾシユチエンコ(七二)
吹雪(中村白葉訳)……プーシキン(七四)

「夏目漱石賞」作品募集規定(二七)

目次・扉絵……宮田重雄

〔総一一二頁 定価四円〕

第一卷第八号 昭和二十一年十一月二十日発行
十一月・十二月号 目次

表紙……岩田専太郎

在五中将……室生犀星(六)

秋の女……立野信之(二六)

花がたみ……今東光(三八)

海の女……山田克郎(八六)

興趣……伊藤貴磨(七八)

情史……林房雄(九五)

思ひ出の帝展(絵と文)……有岡一郎(六九)

加藤八段・坂口八段指切戦―本誌主催

解説と観戦記(詳解棋譜)……塚田八段(六二)

思ひ出す事……辰野隆(七二)
 美しい人……北園克衛(七四)
 演劇時評……千田是也(九四)
 映画時評……津村秀夫(二五)

統計(喜太莊太訳)……F・カリンシー(五〇)
 貪欲な女(喜太莊太訳)……M・ゾシュチェンコ(五二)
 不在証明(中込純次訳)……ベルナルル(五四)

「夏目漱石賞」作品募集規定……(三七)

目次・扉……宮田重雄

〔総一二二頁 定価五円〕

第二巻第一号 昭和二十二年一月一日発行
 新年特大号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場(夢現篇)……尾崎士郎(六)
 月明……火野葦平(三二)
 女たち……榊山潤(四八)
 吹雪……寺崎浩(六八)
 愛居……高浜虚子(九八)
 わかれみち……張赫宙(一〇六)

黄花女……西川満(一二六)
 無花果……木々高太郎(一六二)
 失はれた都……林房雄(一七八)

再愛撫辞(絵と文)……辻永(六六)
 冬三題(絵と文)……奥瀬英三(七九)
 口紅と帽子(絵と文)……伊原宇三郎(一二四)

昭和新碁戦

本因坊対高川七段……解説・本因坊薫和(二五〇)

昭和新将棋戦

土居八段対花田八段……解説・塚田正夫(二五六)

映画時評……津村秀夫(四七)

演劇時評……千田是也(九七)

狩衣のマント他二篇……モオロア(一三八)

反対訊問……カリンシー(一四六)

古き友……モルナルル(一四八)

寒菊(俳句)……中村汀女(一〇四)

旅(俳句)……星野立子(一〇五)

祭……長田幹彦(九〇)

正月芸者……平山蘆江(八二)

耳……兼常清佐(八六)

「夏目漱石賞」作品募集規定……(三二)

目次・扉……宮田重雄

〔総二〇八頁 定価十一円〕

第二卷二号 昭和二十二年二月一日発行

二月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場(夢現篇)……尾崎士郎(六)

茶人……多田裕計(七四)

八瀬の文反古……吉井勇(五六)

悪魔の弟子……南川潤(三〇)

夢は枯野を……室生犀星(八九)

映画時評……津村秀夫(二九)

演劇時評……千田是也(七三)

伊豆海岸(俳句)……長谷川かな女(六七)

北海道の旅……武者小路実篤(四四)

パイプの話……石川欣一(六八)

昭和新碁戦

林七段対福田六段……解説・本因坊薫和(四九)

「夏目漱石賞」作品募集規定

目次・扉絵……宮田重雄

〔総一二二頁 定価八円〕

第二卷第三号 昭和二十二年三月一日発行

三月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場(夢現篇)……尾崎士郎(六)

老脚の賦……真杉静枝(二四)

とこしえに……張赫宙(六八)

貴族の眉……林房雄(八八)

演劇時評……千田是也(五七)

映画時評……津村秀夫(八六)

小説時評……林房雄(四二)

えせ上臈(神西清訳)……バルザック(四四)

日本の山水(随筆)……深尾須磨子(五八)

山村冬日(短歌)……斎藤史(八七)

浅春二題(絵と文)……矢沢弦月(二二)

昭和新将棋戦

渡辺八段対萩原八段……解説・塚田八段(六二)

目次・扉絵……宮田重雄

[総一二二頁 定価十二円]

第二巻第四号 昭和二十二年四月一日発行

四月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場(夢現篇)……尾崎士郎(六)

本院の侍従……今東光(五六)

生れて来て……井上友一郎(二〇〇)

粧鏡……川上喜久子(七八)

地獄極楽……日吉早苗(三四)

巷俗……船山馨(九六)

随筆

喜神因縁……奥野信太郎(七二)

絵と文

東慶寺……木下春(三二)

雪あかり(詩)……深尾須磨子(五二)

従妹(詩)……大木実(五三)

小説時評……林房雄(五四)

演劇時評……千田是也(一九)

映画時評……津村秀夫(九五)

昭和新碁戦

藤沢八段対坂田七段……解説・本因坊薫和(九〇)

目次・扉絵……宮田重雄

(1)「奥付」頁に一一一頁、広告欄に一二二頁と振られている。
[総一二二頁 定価十二円]

第二巻第五号 昭和二十二年五月一日発行

五月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場……尾崎士郎(六)

バラの時代……丹羽文雄(四四)

雑沓の娘……寒川光太郎(二四)

洋婢……高木卓(七八)

紅魚白魚……林房雄(九二)

絵と文

武蔵野の一隅にて……高岡徳太郎(四〇)

隨筆「角」

むじな話……野尻抱影(六四)
虚構と真実……高橋邦太郎(七二)
桃の花と壺……北川桃雄(六八)

俳句「角」

あをぞら……久保田万太郎(七五)
春日乱詠……久米三汀(七六)
春七句……室生犀星(七七)

小説の王道(小説)……林房雄(四二)

傍白6(演劇)……千田是也(二三)

長篇小説の映画化(映画)……津村秀夫(六三)

昭和将棋戦

塚田八段対大野八段……解説・塚田正夫(八九)

目次・扉絵……宮田重雄

[総一二二頁 定価十七円]

第二卷第六号 昭和二十二年六月一日発行

六月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場……尾崎士郎(四)

帰郷者……多田裕計(四八)

英雄……梅崎春生(三六)
瓦文……室生犀星(一八)

小説時評……林房雄(二〇)

映画時評……津村秀夫(四七)

山房雜筆(絵と文)……石井鶴三(三四)

嫁ぐ子(短歌)……吉野秀雄(一七)

下町(短歌)……高田浪吉(一七)

団十郎お兼(隨筆)……平山蘆江(三〇)

目次カット……宮田重雄

[総六四頁 定価十二円]

第二卷第七号 昭和二十二年七月一日発行

七月号 目次

表紙……有岡一郎

人生劇場……尾崎士郎(四)

山里……伊藤永之介(一六)

花雨……北条誠(四六)

出発……榊山潤(五六)

私小説の終末(小説)……林房雄(二二五)
ガス灯とわれらの町(映画)……津村秀夫(四五)

無料入場客(随筆)……秋山安三郎(三九)

匙(絵と文)……裕伊之助(一四)

京の夕涼み(絵と文)……三雲祥之助(一五)

地上(詩)……大木惇夫(四二)

友の集ひ(詩)……山崎栄治(四四)

漱石の硯と万年筆……松岡譲(二六)

目次……宮田重雄

〔総六四頁 定価十二円〕

第二巻八号 昭和二十二年九月一日発行

八・九月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……桜井悦

人生劇場……尾崎士郎(一〇)

めばえ……芝木好子(四二)

街灯……木村莊十(二〇)

知らん顔の半兵衛……田中英光(三二)

断層……橋本英吉(五〇)

オフセット

思ひ出の湖……石川滋彦
踊り二景……桜井悦
夏姿……清水三重三

銀幕放送(スクリーン・アンテナ)……(四八)

俳句「角」

女と風景……飯田蛇笏(一三)

海傍……山口誓子(五三)

口絵……伊東深水 扉絵……宮田重雄

(2)「奥付」頁に六三頁、広告欄に六四頁と振られている。

第二巻第九号 昭和二十二年十月一日発行

十月号 目次

表紙……岩田専太郎

型置更紗……丹羽文雄(六)

努力賞の女……今日出海(四四)

松尾太夫……長谷川幸延(二四)

人生劇場(完結)……尾崎士郎(五四)

口絵 紅葉……伊東深水

グラビア 秋の新人……撮影・中村照夫

〔総六四頁²⁾ 定価二十円〕

吾がシクリズム……宮田重雄(三六)
超人間的存在……石黒敬七(三八)

銀幕放送(スクリーン・アンテナ)……(四三)

世相裏表(フット・ライト)……(二三)

夏目漱石賞当選発表……(六三)

目次絵……宮崎辰親

〔総六四頁 定価二十円〕

(3)「奥付」頁に六三頁、広告欄に六四頁と振られている。

第二卷第十号 昭和二十二年十一月一日発行

十一月号 目次

表紙……岩田専太郎

夢に出て来い……火野葦平(五八)

蛇師……多田裕計(六)

谷間の物語……南川潤(一九)

貞操……井上友一郎(三〇)

女性メカニズム……寒川光太郎(三七)

口絵 山茶花……伊東深水

グラビア 競馬の表情……撮影・中村照夫

競馬不敗の道……菊池寛(二六)

不崎人伝……高田保(四八)

「鳩の目」先生……夏目伸六(五四)

棟梁昔ばなし……野尻抱影(五一)

夏目漱石賞当選発表……(四七)

目次絵……大久保実雄

〔総六四頁 定価二十円〕

第二卷第十一号 昭和二十二年十二月一日発行

十二月号 目次

表紙……岩田専太郎

鴛鴦の帯……林房雄(一〇)

新風……源氏鶏太(四六)

唐辛子……永井龍男(二六)

夕顔……外村繁(五八)

一夜……加藤武雄(三四)

口絵 凧……伊東深水

グラビア 占ひ……撮影・中村照夫

酉の町……清水三重三

オフセット 暮れ……鈴木誠

キヤフエ……伊原宇三郎

新春風景三彩……徳川夢声(三七)

〔総六四頁 定価二十円〕

銀幕放送(スクリーン・アンテナ)……(三三)

夢……清水崑(四四)

酒客転倒……横山隆一(四五)

目次絵……大久保実雄

〔総六四頁 定価二十円〕

第三卷第一号 昭和二十三年一月一日発行

新年号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……大久保実雄

男の度胸……菊池寛(一〇)

奉安殿……獅子文六(一九)

姫……小島政二郎(四〇)

阿部お定聞書……長田幹彦(二六)

同穴の狐狸……久米正雄(五一)

歌舞伎のんき座正月狂言

お染久松色読販……清水崑

口絵 炬燵……伊東深水

グラビア 初夢……撮影・中村照夫

第三卷第二号 昭和二十三年二月一日発行

二月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……大久保実雄

歌舞伎のんき座二月狂言

お半長右衛門月桂川……清水崑

意義……里見淳(一〇)

小指のない女……角田喜久雄(三二)

女車夫……長谷川伸(一八)

骨仏……久生十蘭(四四)

白夫人の妖術……林房雄(五〇)

口絵 早春……伊東深水

グラビア 踊る歓び……撮影・中村照夫

父臨終の前後……夏目伸六(四六)

りんき美談……平山蘆江(二九)

夏目漱石賞作品募集規定……(二八)

〔総六四頁 定価二十円〕

第三卷第三号⁽⁴⁾ 昭和二十三年三月一日発行

三月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……大久保実雄

口絵 春宵……伊東深水

グラビア 化粧……撮影・中村照夫

麻雀……吉屋信子(一〇)

接吻騒動……今日出海(二四)

火中の幻……加藤武雄(三四)

白夫人の妖術……林房雄(五一)

盗人の糞……夏目伸六(二二)

今昔色くらべ……平山蘆江(四八)

歌舞伎のんき座弥生狂言

切られお富とみうさな浮名横櫛……清水崑

第二回夏目漱石賞募集規定……(二一)

〔総六四頁⁽⁵⁾ 定価二十五円〕

(4) 奥付では「第二卷第三号」と誤記されている。

(5) 「奥付」頁に六三頁、広告欄に六四頁と振られている。また第三卷第三号〜第三卷第十二号まで同様の頁の振り方がされている。

第三卷第四号 昭和二十三年四月一日発行

四月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……末田利一

口絵 夜桜……伊東深水

グラビア 春風……撮影・中村照夫

楼蘭の夢……松岡譲(一〇)

運命の糸……佐々木邦(二二)

偷盗伝……菊池寛(三一)

餌食……木村莊十(三八)

白夫人の妖術……林房雄(五四)

ふところ手帖……子母沢寛(五一)

青眼白眼……(三六)

歌舞伎のんき座四月狂言

河内山宗俊上野初花……清水崑

夏目漱石賞作品募集規定……(二一)

〔総六四頁 定価二十五円〕

第三卷第五号 昭和二十三年五月一日発行

五月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……末田利一

口絵 五月晴……伊東深水

グラビア 女三態……撮影・中村照夫

焼け木杵……佐藤春夫(一〇〇)

魅惑……真杉静枝(二〇〇)

蟻のある女……長谷川伸(四〇〇)

なるようになる……徳川夢声(二四四)

庭師……多田裕計(五一)

ふところ手帖……子母沢寛(三五)

青眼白眼……(三八)

歌舞伎のんき座五月狂言

武悪……清水崑

第二回夏目漱石賞作品募集規定……(三四)

〔総六四頁 定価三十円〕

第三卷第六号 昭和二十三年六月一日発行

六月号 目次

表紙……岩田専太郎 目次絵……大久保実雄

口絵 晩涼……伊東深水

グラビア 初夏の魅力

外交官……吉屋信子(一〇〇)

欺かざる女……井上友一郎(二二)

ひょうたん山の辻占……長谷川幸延(三四)

牛……美川きよ(四六)

水中の城……林房雄(五四)

ふところ手帖……子母沢寛(五〇)

夏の女の魅力……平山蘆江(四四)

青眼白眼……(三二)

歌舞伎のんき座六月狂言

島網しまのあみてんのちゆうしん天中心……清水崑

〔総六四頁 定価三十円〕

第三卷第七号 昭和二十三年七月一日発行

七月号 目次

表紙……宮本三郎 目次絵……大久保実雄

口絵 花火……伊東深水

グラビア 夏山……塚本閣治

信夫の鷹……中山義秀(一〇〇)

白い顔……寒川光太郎(三六)

ニューフェース……坂口安吾(二四)
唾……村松梢風(四二)
水中の城(連載)……林房雄(五四)

ふところ手帖……子母沢寛(五一)
青眼白眼……(四〇)

歌舞伎のんき座七月狂言(三色)
地蔵経由来……清水崑

珍聞閑聞……(二三) ルーマー倶楽部……(三五)

〔総六四頁 定価三十円〕

第三卷第八号 昭和二十三年八月一日発行
八月号 目次

口絵 紫陽花……伊藤深水
グラビア……釣り

青蜜柑……加藤武雄(四四)
梯梧の花……火野葦平(一〇)
麻の上着……永井龍男(二〇)
色も香も……今日出海(三八)
画盗人……夏目伸六(二八)
水中の城(連載)……林房雄(五四)

ネクタイと女房……獅子文六(二五)
ふところ手帖……子母沢寛(三五)
あひびき挿話……平山蘆江(五一)

青眼白眼……(四二) 第二回夏目漱石賞経過報告……(六三)
詰碁……本因坊薫和(二七) 詰将棋……塚田名人(二七)

歌舞伎のんき座八月狂言
邯鄲枕物語……清水崑
表紙……宮本三郎 目次絵……大久保実雄

〔総六四頁 定価三十円〕

第三卷第九号 昭和二十三年九月一日発行
九月号 目次

表紙……宮本三郎 目次絵……末田利一
口絵 花月……ラファエル・コラン
グラビア 夕涼み……撮影・中村照夫

歌舞伎のんき座九月狂言(三色)
自由なファンシー……清水崑
勝敗……久米正雄(一〇)
北京の女……貴司山治(一五)
或る日の伝授……富沢有為男(二八)

昨日の敵……大林清(四二)
水中の城(連載)……林房雄(五五)

ロシヤ帽……野尻抱影(二五)

ふところ手帖……子母沢寛(三九) 青眼白眼……(五三)

詰碁……本因坊薫和(三八) 詰将棋……塚田名人(三八)

[総六四頁 定価三十五円]

第三卷第十号 昭和二十三年十月一日発行

十月号 目次

表紙……寺内万治郎 目次絵……末田利一

口絵 裸体のマハ……フランシスコ・ゴヤ / (上原之節解説)

グラビア 姿態の表現……津田舞踊研究所 / (中村照夫撮影)

オフセット三色刷

世界のナイト・クラブ……絵・末田利一 / 文・永田龍雄

ダリヤの絵……新田潤(六)

舞踏服……木村莊十(二二)

木像の首……村松梢風(三六)

柘榴……土岐雄三(四七)

水中の城(連載)……林房雄(五四)

ふところ手帳……子母沢寛(一九)

青眼白眼……(五二) ハリウッド・ニュース……(三二)

洋画コンクール(漫画)……那須良輔 / 金親堅太郎(三四)

詰碁……本因坊薫和(二二) 詰将棋……塚田名人(二〇)

[総六四頁 定価四十円]

昭和二十三年十月二十日発行

別冊・小説と読物⁶⁾ 第一集 目次

銀のやうな……小島政二郎(八)

魔法の眼鏡……林房雄(二四)

フルーリエ氏夫妻……春日迪彦(三八)

素描淡彩……富沢有為男(四八)

雪をんな……土師清二(五九)

喰へない女……美川きよ(七二)

二番師……長谷川幸延(八四)

愛と物質……井上友一郎(九六)

蘭学路険し……矢田挿雲(一〇六)

洪水……松井伸六(一二一)

落花の記……加藤武雄(一三六)

表紙絵……伊藤龍雄

口絵……喜多川歌麿

目次絵……末田利一

[総一五〇頁 定価八十円]

(6) 新字で記述。だが奥付は「小説と讀物別冊」と記載されている。

第三卷第十一号 昭和二十三年十一月一日発行
十一月号 目次

しどろもどろの細道……小島政二郎(六)
熱海……北村小松(二二)
血液……大林清(四〇)
水中の城……林房雄(五四)
漱石山房夜の文鳥……内田百閒(一六)
秋祭り東京……平山蘆江(一九)
ふところ手帖……子母沢寛(三四)
口絵 扇を持つ女……アベル・フェーブル
グラビア 君が今宵のお相手は……撮影・中村照夫
オフセット 世界接吻名作集……絵・末田利一／文・高橋邦太郎
風流のぞき眼鏡・洒落れた話……玉川一郎(三八)
漫画・秋情三景……那須良輔(三七)
モダン小唄ニユー・ルック・銀座風俗……木庭東一(五三)
人気花形日記だより……灰田勝彦(五三)
青眼白眼……(三二) 洋画ファン……(三八)
詰碁……本因坊薫和(一八) 詰将棋……塚田名人(一八)
表紙……寺内万治郎 目次絵……末田利一

〔総六四頁 定価四十円〕

第三卷第十二号 昭和二十三年十二月一日発行
十二月号 目次

オフセット
世界の浴場巡り……絵・石黒泰治／文・永田龍雄
風流のぞき眼鏡・その時だけは……高橋邦太郎(五二)
漫画・泥棒抄……那須良輔(三七)
モダン小唄ニユー・ルック・アツプ節……木庭東一(五一)
人気花形日記だより……大下弘(五一)
青眼白眼……(三八) 洋画ファン……(五二)
詰碁……本因坊薫和(一四) 詰将棋……塚田名人(一四)
しどろもどろの細道(続篇)……小島政二郎(六)
イカサマ友造……長谷川伸(四〇)
博多人形……火野葦平(一八)
或る娼妓の話……村松梢風(三二)
ふところ手帖……子母沢寛(一五)
水中の城(完結)……林房雄(五四)
口絵 無為……ファイリツプ・ザカリー
グラビア 儲かりますか……撮影・中村照夫
第二回夏目漱石賞予選発表……(三六)

表紙……寺内万治郎 目次絵……末田利一

〔総六四頁 定価四十円〕

第四卷第一号 昭和二十四年一月一日発行

新年特大号 目次

表紙絵……寺内万治郎

口絵……ギヤレルリ

目次絵……末田利一

扉絵……大久保実雄

オフセット(三色刷)

世界の女芸人……絵・石黒泰治／文・永田龍雄

温泉いづゆの匂におひ……久米正雄(一六)

天国地獄……新田潤(九二)

蠟梅と新酒……火野葦平(三〇)

A島からの手紙……久生十蘭(五〇)

春の洪水……林房雄(六八)

次郎吉懺悔……子母沢寛(四二)

名優……貴司山治(二〇三)

しどろもどろの細道……小島政二郎(一一五)

新春読物

初トラ物語(初虎の巻)……徳川夢声(八五)

初拘留(初種の巻)……弓館小鱈(八二)

大雪のあと(初遊の巻)……平山蘆江(八〇)

色頁特集「横」

傑作漫画・銀座のリンタク……清水崑

風流のぞき眼鏡・リンゴの歌……柏木葛三

モダン小唄ニユールツク・世紀のおくび……木庭東一

人気花形日記便り……柳家権太楼

洋画ファン・「卵と私」

〔(六三)～(六六) ↓右記五行の下に渡って頁振り〕

(シベリヤ・スケッチ覚え書) お洒落な哨兵……(四一) 接吻異聞

……(四九) 赤い花嫁さん……(六七)

新妻粧……秦一郎(八九) 風流滑稽スポーツ(漫画)……金親

堅太郎(七八)

青眼白眼……(九〇) 詰碁……本因坊薫和(八八) 詰将棋……

塚田名人(八八)

グラビヤ特集(撮影・中村照夫)

好色五人女(配役)

お七……藤陰美代枝／おせん……花柳徳美津／おさん……藤間勘

園／お万……吾妻徳穂／お夏……藤間節子

(7)「奥付」頁に一二二頁、広告欄に一二三頁と振られている。
〔総一二二頁 定価七十円〕

第四卷第二号 昭和二十四年二月一日発行

二月号 目次

表紙絵……寺内万治郎

口絵……アローム

目次絵……末田利一

扉絵……大久保実雄

三色刷オフセット

大饗宴豪華競べ……絵・小川真吉／文・高橋邦太郎

しどろもどろの細道……小島政二郎(一八)

裸木……大林清(二六)

インフレの神……多田裕計(三八)

どくろ単衣……子母沢寛(五五)

女嫌ひ……森三千代(六五)

月魂つきしろ……中山義秀(七八)

第二回夏目漱石賞入選発表……(五四)

色頁特集

傑作漫画・噫々!!ミスばやり……和田義三(六一)

風流のぞき眼鏡・女体創造奇聞……矢野目源一(六二)

モダン小唄ニユールック・ヅカファン氣質……木庭東一(六四)

人気花形日記便り……高峰秀子(六四)

洋画ファン・「打撃王」……(六二)

詰碁……本因坊薫和(三四) 詰将棋……塚田名人(三四)

青眼白眼……(七四) 珍聞閑聞……(二五)

五年前までの話……玉川一郎(三五)

ウォーム・ハート……那須良輔(七六)

特集グラビヤ

早替現代芸者風俗……カメラ・中村照夫

(8)「奥付」頁に九五頁、広告欄に九六頁と振られている。〔総九六頁 定価五十五円〕

第四卷第三号 昭和二十四年三月一日発行

三月号 目次

父の晩年……丹羽文雄／画北地莞尔(一一九)

蒲団部屋……北村小松／画小川真吉(九〇)

弱竹なやたけ……村松梢風／画嶺田弘(一〇八)

忘れられた庭……撰津茂和／画桜井悦(四八)

わが街は人の心直かりき(五十枚)……石坂洋次郎／画宮田重雄

(一四)

「右記小説の下にレイアウト、横書にて」

糊と鉄……(八三) オフ・マイク……(七九)

科学の頁……(一〇〇) 花形日記……柴田早苗(六二)

「糊と鉄」以下四項目の下にレイアウト、横書き四角く囲み
エトランジェ 異国版おらが春

ニューヨーク・ロンドン・ジャワ・マレイ
 モスクワ・マニラ・バグダット・ビルマ……(三〇)

「横書きにて」

お好みホープ家庭訪問記 京マチ子さんの巻 本誌特派記者内海
 一三……(八〇)

「家庭訪問記」の下にレイアウト、縦書きにて」

身延山中に生きてゐた忍術者

「伊賀流の後裔」と会見の記……(八四)

楽神と結婚した諏訪根自子……(一〇二)

ポツタム 新興宗教てんやわんや……(五八)

三笠宮殿下／林房雄 春宵あれこれ放談……(四五)

「イラストの上にレイアウト、横書きにて」

表紙……寺内万治郎

口絵・泉……アングル

グラビヤ・東西ホープ競べ・オフセットマンガ・日本泰西名画

展……宮田英三

おしやれの頁……(一〇一)

詰碁・詰将棋……(六二)

閑人好色頁・カラー★セクシヨン

「上記項目の下にレイアウト、横書きにて、四角く囲み上に「閑人
 」「下に「カラー」」

笑話……(六三) マンガ……那須良輔(六四)
 フランス小咄……(六六) 笑転街……(六八)

ソ連マンガ紙芝居……(七〇) シネプレビュー……(七四)
 ニューヨクタイムズ……(七六) マンガ……金親堅太郎(七八)

〔総一二六頁 定価七十円〕

第四卷第四号 昭和二十四年六月一日発行

六月増大号 目次

表紙……高井貞二

マンガ春の客……松下紀久夫(三五)

新人マンガ……(五五)(七二)

科学の頁……(六三)

傑作読切「横」

社会風話★文士について語る★……高田保(二四)

善意の悪結果……石川達三／画・大久保実雄(八九)

花月の手記……芹沢光治良／画・高井貞二(四六)

ゴリちゃん一家……加賀山直三／画・那須良輔(六四)

酒場の唄……北条誠／画・木内広(二六)

至誠動人……徳川夢声／画・清水崑(一六)

暗示の歴史……佐々木邦／画・田中比左良(四二)

談義シリーズ第一講(やきもち談義)……吉村大伍(四三)

「傑作読切」の下にレイアウト、横書き

男のお洒落座談会

語る人／石黒敬七／小野佐世男／渡辺紳一郎／ミス・マヌエラ／末田利一……(六五)

新連載「横」

第二流の季節……辻陽子(画・成瀬一富)(一〇二)

ひまじんごのみいろページ／閑人好色頁／★息もつかせぬ16頁★

「横」

マンガ 富田英三／村山しげる／石川まさや／松下紀久雄

ニューヨタタイムス

笑転街

シネ・プレビュー

フランス映画便……(七三)

〳〵八百年前の世界〴〵をゆく……(三六)

お好みホープ訪問記(冗談音楽河井坊茶の巻)……内海一三(八〇)

★わが好敵手を語る★★各界五十名士★

婦系図秘話……村松定孝(九四)

〔総一二〇頁 定価六十円〕

昭和二十五年一月一日発行

※上田書房発行となり通号通巻なし

新年特集号 目次

表紙……有岡一郎

扉・目次カット……宮崎辰親

グラビヤ 生きてゐる作中人物……カメラ・林忠彦

第二回夏目漱石賞当選作 雨降る孤島……齊藤芳樹(二〇)

童貞女昇天……吉屋信子(一七四)

紅灯祭の夜(絵本金瓶梅)「角」……林房雄(二六四)

手術……木村莊十(一一八)

蝕まれぬ雌蕊……川上喜久子(六二)

ペテルブルグの漂民……小沼丹(八八)

生きてゐた吉良上野……榊山潤(四九)

長春……榛葉英治(一〇四)

愛流(遺稿)……田中英光(一三〇)

彼の求める影……木々高太郎(一九四)

贗作吾輩は猫である……内田百閒(二八六)

手函……大佛次郎(三八)

遺書……田中英光(八六)

三盃座談会

ほろ酔ひ炉辺鼎談……難波久太郎／井上友一郎／内田百閒(一五〇)

特別読物「角」呉清源……野上彰(七七)

女優花子とロダン……村松定孝(二四二)

岡本かの子の記……生田花世(二五八)

映画時評……北川冬彦(一八五)

囲碁……本因坊薫和(三七) 詰将棋……萩原八段(三七)

挿画「横」……佐藤泰治 伊勢正義 初山滋 中尾進 三芳悌吉

茂田井武 高沢圭一 由良艸吉 内田巖 桜井悦 鴨下晁湖 有岡一郎「四人ずつ三行」

〔総二〇八頁 定価九十円〕

昭和二十五年二月一日発行

二月号 目次

表紙……有岡一郎

目次・扉カット……宮崎辰親

グラビヤ「横」〳生きてゐる作中人物〳(II)……林忠彦撮影

身上話が好きな女……久米正雄(一〇)

淫神……火野葦平(一一一)

或る年代記……檀一雄(一〇〇)

鸚鵡夫人……永井龍男(一二八)

驢馬……中村八朗(三二)

ゆで鮓……美川きよ(二二)

夙夜……駒田信二(四四)

「仙石騒動」余話……小島政二郎(一二二)

彼の求める影……木々高太郎(一三九)

贗作吾輩は猫である……内田百閒(一五四)

特別読物「以下二タイトル四角く囲む」

名人 木村義雄……野上彰(七六)

先代 市村羽左衛門……金沢慎二郎(六八)

三盃座談会「横」 逢坂間談……三淵忠彦／宮川曼魚／内田百閒

(九〇)

アメリカ短篇「角」 どちらが狂人か……W・Gシムズ 林耕三(八三)

小説時評……青野季吉(一三八)

映画時評……北川冬彦(七五)

囲碁……本因坊薫和(四三) 詰将棋……萩原八段(四三)

さしえ「横」……三芳悌吉 高沢圭一 藤川栄子 内田巖 佐藤泰

治 由良艸吉 有岡一郎 桜井悦 茂田井武 鴨下晁湖 清水三重

三 宮崎辰親「四人ずつ三行」

〔総一六〇頁 定価八十円〕

昭和二十五年四月一日発行

四月号 目次

表紙……有岡一郎

目次・扉カット……宮崎辰親
グラビヤ「角」生きてゐる作中人物(Ⅲ)……撮影・林忠彦

映画時評……北川冬彦(六一)
将棋・囲碁……(七三)

鯉節……尾崎士郎(一九)

挿画「横」……内田巖 高沢圭一 由良艸吉 伊勢正義 有岡一郎

陰火……井上友一郎(一〇)

鈴木信太郎 須田寿 宮崎辰親 桜井悦 岡田謙三 今村寅士 三

恐るべき姫君……今日出海(二二二)

雲祥之助 茂田井武「四人ずつ三行」

螢火……川上喜久子(五二)

〔総一六〇頁 定価八十円〕

愛のブルース……北条誠(一一二)

愛慾……藤井千鶴子(三〇)

昭和二十五年五月一日発行

酒場ルルチモで……田宮虎彦(二六二)

五月号 目次

おんぶ……森三千代(一三八)

絵日傘……室生犀星(一三一)

表紙(デムバツサルの道)……有岡一郎

金欄の小袋……真杉静枝(八三)

扉・目次カット……鳥海青児

贋作吾輩は猫である(連載)……内田百閒(二五五)

グラビヤ 生きてゐる作中人物(Ⅳ)……林忠彦

旅愁(詩)……杉浦伊作(一一一)

小説特集

特別読物「角」 空想部落昔談……小田幸二郎(七四)

妻の死と踊子……土居浩画／丹羽文雄(三〇)

坂口安吾……野上彰(九四)

みちのく物語……有岡一郎画／中山義秀(三六)

宮田重雄氏のこと……内田誠(二四七)

春宵……原精一画／外村繁(五八)

三盃座談会「横」 駅長と検校……宮城道雄／加藤源蔵／内田百閒

ここまでおいで……高沢圭一画／貴司山治(二〇)

(一〇二)

ある夜……桜井悦画／茂木好子(二六七)

猫と梅の花……福田豊四郎画／多田裕計(六六)

聾棧敷……今村寅士画／小泉讓(一〇六)

悲しき神々……佐藤泰治画／日吉早苗(八〇)

乳母車……大久保実雄画／水上勉(一三二)

「座談会」の真下にレイアウト

フランス映画紹介(二八)

乳母車……大久保実雄画／水上勉(一三二)

恋のゆくえ……須田寿画／荒木巍（一二一）

青磁の皿……土居淳男画／村松梢風（一八六）

財布と寒雀……伊勢正義画／豊田三郎（四六）

妻は帰りぬ……石川滋彦画／林房雄（一八〇）

贋作吾輩は猫である……内田巖画／内田百閒（二九四）

ロシヤ短篇「角」 ごく短い小説……（ガルシン）中村融訳（九二）

花五十句……高浜虚子（九六）

春五十首……窪田空穂（一〇〇）

三盃座談会

大博士呆談……辰野隆／藤原咲平／内田百閒（二五八）

菊池寛先生と金……桔梗利一（二四二）

映画時評……北川冬彦（五七）

特別読物

杉村春子……野上彰（一四四）

麻雀アラベスク……川崎備寛（一五〇）

毎日球団監督「角」 若林忠志……吉田要（二五四）

アンケート 一、小説をお読みになりますか／一、最も好きな作家

及び作品は／一、最近感銘をうけられた作家・作品

米窪満亮 荒畑寒村

檜橋渡 今村信吉

石山賢吉 三笠宮崇仁 鷹司平通 池田成彬

下村海南 吉田秀雄 鶴見祐輔 福原麟太郎

加藤源蔵 小林一三 赤岩栄 鈴木文史朗

詰将棋……萩原淳（九五） 詰碁……本因坊薫和（九五）

〔総二〇〇頁 定価九十円〕

昭和二十五年八月一日発行

八月号 目次

表紙（レッスン）……有岡一郎

扉・目次カット……鳥海青児

グラビヤ 生きてゐる作中人物（V）……林忠彦

風流旅情記 一三〇枚……久生十蘭（九四）

流星……井上靖（一九）

ほととぎす……福田綾子（一三三）

帽子……清水基吉（二八）

異邦の夫……張赫宙（一六七）

黄水仙……椿実（六一）

薄紅……今井達夫（七〇）

愛猿記……子母沢寛（五二）

なめとこ……高橋新吉（一〇）

贋作吾輩は猫である……内田百閒（二七九）

八十歳以上……柳沢健(三七)

「アジア的都市形式」の説……石川栄耀(三九)

おへそ……徳川義親(四〇)

鶴岡八幡宮の大銀杏……座田司氏(四二)

木版画に就ての対話……吉田遠志(四四)

聖林の思ひ出……川喜多かしこ(四六)

死線を越えた至芸……田辺尚雄(四七)

伊語の悪戯……下位春吉(四九)

昔懐し銀座の文人……金沢慎二郎(一五八)

民間放送局ものがたり……吉本明光(八二)

競馬と馬主……岩崎純孝(八八)

司馬温公頌徳碑……野尻抱影(一五四)

鵜の目鷹の目……小佛次郎(八〇)

海外美術……中村恒夫(七九) 写真トピック……田口雅夫(二六四)

三盃座談会

雅俗併存……前田晃／井上慶吉／内田百閒(一四六)

挿画「横」……鈴木信太郎 三芳悌吉 宮田重雄 茂田井武 本郷

新 古茂田守介 高沢圭一 桜井悦 内田巖 斉藤愛子「五人ずつ

二行」

〔総一八四頁 定価八十円〕

昭和二十五年十月一日発行

十月号 目次

表紙(利島を観る)……有岡一郎

扉・目次カット……鳥海青児

グラビヤ 生きてゐる作中人物(VI)……林忠彦

「のこしうた」の記……佐藤春夫(二〇)

車中の女……伊藤永之介(二四)

暗い濠……耕治人(八六)

白い手套……谷本敏雄(一五四)

メデューサの首……菱山修三(六〇)

女の手……倉光俊夫(五三)

生きてゐる人々……柴田錬三郎(一〇六)

贗作吾輩は猫である……内田百閒(二七九)

にせもの……近藤市太郎(三五)

セビリヤの夜……勝田保世(三七)

逸民氏行状……吉川義雄(三九)

狂言の動物……三宅藤九郎(四一)

「エティケツト」の本……村岡花子(四三)

とぼけた筈……根岸栄隆(四五)

無心……古賀忠道(四七)

コツケイ武勇伝……番匠谷英一(四八)

ぬえ……吉原敏雄(五一)

舟橋聖一……十返肇(一四七)

鵜の目鷹の目……小佛次郎(一三〇)

渡米流行……上山敬三(九八)

東京おぼえ帳……平山蘆江(一四二)

不老不死の悲しみ……下位春吉(七六)

国宝物運搬……渋谷二郎(八三)

私は幽霊を見た……夏目貞良(八〇)

ダンサー白書……川北長年(一〇一)

看板と標語……須藤鐘一(七五)

舞踊界あらべすく……廊下とんび(一七八)

ステージランド……P・P生(九七)

海外美術……中村恒夫(七九)

三盃座談会

薬剤金融椿論……久米正雄／神鞭常泰／内田百閒(一三四)

装画「横」……伊原宇三郎・内田巖・佐藤泰治・大久保実雄・須田

寿鳥海青児・桜井悦・樋口加六・茂田井武・有岡一郎「五人ずつ二
行」

〔総一八四頁 定価八十円〕

「苦楽」総目次

概略

【発行期間・総冊数】「苦楽」は、昭和二十一年十一月一日～昭和
二十四年九月一日発行(昭和二十三年七月、十二月は刊行なし)の

計三十三冊。通巻通号表記はなし。「別冊・苦楽」は、昭和二十三
年七月十日発行の一冊。「苦楽・臨時増刊」は昭和二十三年十一月
十日、二十四年五月二十日、六月二十日、八月二十日発行の計四冊。
三年十一月の間で総冊数は三十八冊。ただし、「苦楽」には在米
邦人へ向けて、美人画、紀行文等を追加した紙面構成の異なる海外
版(昭和二十三年三、四、十、十二月号の計五冊)も存在しているが、
本総目次は国内版をもとに作成した。

【刊行頻度・判型】A5判の月刊誌(昭和二十三年八月号のみ、印
刷所変更のため「七・八月合併号」)

【発行所】株式会社苦楽社。所在地は、東京都京橋区京橋三丁目一
番地第一相互館内。昭和二十二年三月、京橋区が日本橋区と合併し
て中央区に記載変更。同年七月、中央区銀座西八ノ五へ移転。

【編集人・発行人】創刊号から昭和二十三年六月までは、編集人須
貝正義、発行人山口新吉。昭和二十三年八月から終刊までは、須貝
正義が編集兼発行人(別冊、臨時増刊のみ、編集人須貝正義、発行
人田中延二。)

【印刷人・印刷所】印刷人・印刷所は、創刊から昭和二十二年五月
まで、小野通久・文寿堂工場。昭和二十二年六月から二十三年六月
まで、勝畑四郎・文寿堂富岡工場(創刊号のみ、印刷人・印刷所は
小野通久・文寿堂富岡工場)。昭和二十三年八月から終刊まで、大
橋芳雄・共同印刷株式会社。「別冊・苦楽」と、「苦楽・臨時増刊」

のうちの二冊(昭和二十四年五月二十日、八月二十日発行)の計三冊のみ、山本平八郎・出光興産株式会社印刷部。(※配給元・日本出版配給株式会社の記載は、創刊から昭和二十二年五月、二十四年一〜五月の期間のみ)

【概要】「苦楽」は戦後一年足らずで大佛次郎が創刊した文芸娯楽雑誌。広く壮年層に向けた、ヴィジュアル面重視の「名作絵物語」やグラビア、漫画、「色頁特集」などの企画に特色がある。

編集人須貝正義は元「モダン日本」編集長であり、大佛の勧誘を受け、昭和二十一年七月に新太陽社(旧モダン日本社)を退き、創刊に参加している。当初の主要な編集者に、元新興キネマ大泉撮影所の大佛次郎係専門文芸部長であり、松竹映画、改造社等を経て、鎌倉文庫宣伝部長であった営業部長兼出版部長の田中延二、元「新青年」編集長であり推理作家としても知られる編集顧問(非常勤)水谷準がいる。主宰である大佛は、新作「鞍馬天狗」をはじめとする小説作品に加え、「坐雨廬」の筆名で終刊まで編集後記を執筆した。

雑誌の牽引者であった大佛の意図は、創刊号の編集後記において、端的に表明されている。「青臭い文学青年」のための「なまぐさくつて手がつけにくいと云ふ代物」ではなく、「文学に縁のない生活をしてゐる読者が読んでも、素直に平明に文学なり人生の明るい理解に立ち入り得ると云つたやうな小説を生む機縁となれば有難い」という、「洗練と円熟」を求めた「社会人の文学」を目指す方針とともに、「我々は所謂大衆雑誌や娯楽雑誌を作つてゐるものとは信じない。誠実に、謙抑にもつと大きく明るい世界を拓きたい」とする志望も着目に値する。後記では、娯楽雑誌に分類されることを峻

拒する主張が繰り返されたとおり、既存大衆雑誌よりもハイブラウな読者層に訴求するねらいは明確であり、新たな文学的領野開拓への志向は、他の中間小説誌と概ね一致している。

発行所となった苦楽社については、須貝による『大佛次郎と「苦楽」の時代』(平成四年十一月、紅書房)に詳しい。苦楽社が合弁会社として出発した当初は、印刷所となった文寿堂から、出版資金および用紙が提供されていた。しかし、株式の配分を巡る編集部と印刷所との確執が生じたため、昭和二十三年五月に雑誌発行人であり副社長の山口新吉以下、文寿堂側が経営から撤退し、印刷所も変更されている。その後は、「苦楽」の姉妹雑誌として昭和二十四年一月より刊行した、「天馬」(ベガサス)の返本率九割ともいわれる不振(七月号終刊。計六冊)のように、折からの出版不況のあおりを受け経営が悪化し、「苦楽」においても原稿料支払いの遅滞を招く。さらに、事実上の「苦楽」終刊号となる昭和二十四年九月号での、鍋木清方からの表紙画家変更に対する大佛の不興が起因となり、編集部内で須貝と田中の対立が悪化する。田中を支援する態度を硬化させた大佛は、同年十月二十日、和田日出吉を通じ編集部総退陣を要求し、同月末をもって編集部は解散、「苦楽」も消滅している。

昭和二十一年十一月一日発行
十一月創刊号 目次

表紙(花野)……鍋木清方

口絵写真(女性美)……撮影・井深徹

私の見た美「人」……西崎緑(七)

知性の美……………宮川曼魚(一〇)	著作堂晩年(江崎孝坪画)……………加藤武雄(一二四)
小さい花……………大佛次郎(一一)	あきくさ(佐藤泰治画)……………吉屋信子(一一六)
亜熱帯風の顔……………東郷青児(一二)	黒船異聞(山本武夫画)……………宮川曼魚(一四四)
哀愁美(絵と文)……………藤田嗣治(八)	静夜(猪熊弦一郎画)……………大佛次郎(一六〇)
無雑作な美しさ……………花柳章太郎(一三)	閑勇に逢ふまで(芸談録)……………喜多村緑郎(一五一)
貧者の一灯……………里見弴(二四)	東京おぼえ帳(市村羽左衛門)……………平山蘆江(一一二)
随筆「横」	噂の女性いまいづこ……………玉子九蔵(二五六)
飛沙魚……………佐藤垢石(四〇)	短歌 夏草だより……………吉井勇(五八)
將軍……………秦豊吉(四二)	俳句 桔梗……………中村汀女(三九)
顎のない面……………石黒敬七(四三)	舶来コント「角」
鼻の思ひ出……………渋沢秀雄(四四)	三十年(水谷準訳)……………モーリス・ルナール(一四二)
美銘……………内田誠(四五)	或る診察(川井三吉訳)……………ジャン・フォルゼーヌ(一二三)
田之助のはなし……………花柳章太郎(四六)	
名作絵物語「角」坊っちゃん(夏目漱石作)……………中川一政(一五)	
戦犯歌舞伎芝居……………森田草平(七六)	
小説	
秋の日(岩田専太郎画)……………久保田万太郎(二八)	目次……………山本武夫
サラサアテの顔(宮田重雄画)……………上司小剣(六二)	扉絵……………山名文夫
新今昔物語「角」六宮姫君(吉村忠夫画)……………菊池寛(四八)	編集後記……………(一七四)
毒婦(木村莊八画)……………長田秀雄(八六)	
太公望(清水崑画)……………白井喬二(九九)	昭和二十一年十二月一日発行
	十二月号 目次
	[総一七四頁 定価八円]

表紙(紅椿)…………… 鏑木清方	名作絵物語「角」たけくらべ(樋口一葉作)…………… 木村莊八(七)
目次(厩河岸の夕暮)…………… 山本武夫	アンナン娘アンドレ…………… (絵と文) 東郷青児(一一〇〇)
口絵写真(日本芸術の世界)…………… 撮影・土門拳/深田登美雄	花の巴里の橘や…………… 渡辺紳一郎(一三八)
文五郎の芸術…………… (一七)	落語鑑賞「角」富久まへがき…………… 安藤鶴夫(二五八)
人形…………… 川上南甫(二〇)	舶来コント・恋のライヴァル(川井三吉訳)…………… ルネ・ル・キュー ル(一六二)
そめものをする…………… 野口真造(一八)	扉絵…………… 山名文夫
竹芸…………… 林尚月齋(二二)	社中いろ鉛筆…………… (一七四)
能面素描…………… 鈴木慶雲(二三)	編集後記…………… (一七六)
白醉亭私語 書く…………… 里見淳(二六)	昭和二十二年一月一日発行
隨筆「横」	新年号 目次
動物園今昔…………… 野尻抱影(九〇)	表紙(道成寺)…………… 鏑木清方
大同少尉・ポツダム少尉…………… 宮田重雄(一〇六)	目次(芝居町)…………… 山本武夫
俳句 月…………… 水原秋桜子(八九)	扉絵…………… 佐藤敬
戯曲 或る女(有島武郎原作) 二百枚読切!…………… 久保田万太郎	口絵写真(祇園の春)…………… 撮影・福田勝治
(三〇)	白醉亭私語 笑ふ…………… 里見淳(三〇)
小説 新今昔物語「角」狐を斬る(吉村忠夫画)…………… 菊池寛(二三)	
小説 涙痕二代(鈴木朱雀画)…………… 長谷川伸(九二)	
小説 屏風(清水三重三画)…………… 正木不如丘(一四二)	
小説 浅草六区(長谷川春子画)…………… 浜本浩(一〇八)	
小説 盗難(山本武夫画)…………… 宮川曼魚(一三一)	
小説 猛者(石川滋彦画)…………… 大佛次郎(一六四)	

〔総一七六頁 定価八円〕

俳句「横」

- 故園の春……飯田蛇笏(五四)
- 手の寒さ……山口誓子(五五)
- 狂花抄……白田亜浪(五六)
- 笹鳴……上林白草居(五七)
- 静夜……山口青邨(五八)
- うちむらさき……石田波郷(五九)

名作絵物語「角」女優ナナ(エミール・ゾラ作)……絵・シヤス・ラボルド／解説・大佛次郎(一三三)

風俗雑話 美人変遷小史……絵と文 木村莊八(七〇)

- 小説 虹(伊東深水画)……高浜虚子(二二)
- 戯曲 芹川行幸(真野満画)……釈迢空(四六)
- 小説 淀の文反古(清水三重三画)……吉井勇(三四)
- 小説 大仁にて(武者小路実篤画)……久保田万太郎(六〇)
- 小説 新今昔物語「角」学者夫婦(吉村忠夫画)……菊池寛(六五)
- 小説 首のぶ伝(木村莊八画)……村松梢風(一五四)
- 小説 雪の町(宮田重雄画)……林美美子(七六)
- 小説 敗将(江崎孝坪画)……加藤武雄(九六)
- 小説 カルメン逝きぬ(田中良画)……長田秀雄(一三三)
- 小説 おばあさん(佐藤泰治画)……ささきふさ(一七四)
- 小説 江東春色(山本武夫画)……宮川曼魚(一九二)
- 小説 新東京絵図(岩田専太郎画)……大佛次郎(二〇〇)

色頁特集「角」クラック・ヴァラエティ……構成・水谷準(一一七)

約束ごと(芸談録)……喜多村緑郎(八八)

東京おぼえ帳(お妻とぼんた)……平山蘆江(一一四)

大阪落語・旅の咄……渡辺均(一五〇)

落語鑑賞・富久……安藤鶴夫(一六六)

コント・夫のいびき(小塚一郎訳)……ジオルジュ・ノルマンディ(一八八)

社中いろ鉛筆……(二二〇)

印刷いろ鉛筆……(二〇九)

編集後記……(二二二)

〔総二二二頁 定価十五円〕

昭和二十二年二月一日発行

二月号 目次

表紙(きさらぎ)……楠木清方

目次(日本橋雪景)……山本武夫

扉絵……佐藤敬

口絵写真(のれん礼讃)……撮影・福田勝治

名作絵物語「角」滝口入道(高山樗牛作)……江崎孝坪(五)

断片……真山青果(二四)

東京おぼえ帳(清香と花香)……平山蘆江(二三二)

白醉亭私語 日本語……里見弾(四四)

短歌 弄影鈔……吉野秀雄(五六)

俳句 時雨……星野立子(八三)

市村羽左衛門論序説……折口信夫(四八)

落語鑑賞・寢床まへがき……安藤鶴夫(一四四)

隨筆「横」

社中いろ鉛筆……(一六二)

家……辻二郎(七六)

印刷いろ鉛筆……(一六二)

蕃山と正雪……森銚三(八四)

出版便り……(一一三)

飽食三昧……津田正夫(一一〇)

編集後記……(二六四)

〔総一六四頁 定価十二円〕

小説 浪花節イデオロギ―(鈴木信太郎画)……上司小剣(三二)

小説 新今昔物語「角」大雀天皇(吉村忠夫画)……菊池寛(七八)

昭和二十二年三月一日発行

小説 処刑場曲芸(木村莊八画)……長谷川伸(六四)

三月号 目次

小説 虹のごとく(中西利雄画)……福田清人(一一四)

小説 花づかれ(山本武夫画)……宮川曼魚(一三六)

表紙(弥生)……鏑木清方

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図(岩田専太郎画)……大佛次郎

目次(不忍池)……山本武夫

(二四八)

扉絵……佐藤敬

色頁特集「角」苦楽珍聞……構成・横山隆一(八七)

口絵写真(春の前奏)……長浜慶三、渋谷龍吉、塚本閣治／大西熊太郎、真継不二夫、魚住励

土佐大夫閑話……内海幽水(一二六)

白醉亭私語 忙しさ……里見弾(二二)

素人芝居の頃(芸談録)……喜多村緑郎(一〇三)

俳諧色襲ね……久米正雄(四〇)

市村羽左衛門論……折口信夫(五四)

諸国噺「横」

びろうな話……相馬御風(八〇)

活人画のハナ……東郷青児(八二)

風と侠客……村松梢風(八四)

俳句 霜の花……松本たかし(五三)

小説 大盗マノレスク(木村莊八画)……白井喬二(二二六)

小説 新今昔物語「角」心形問答(吉村忠夫画)……菊池寛(七二)

小説 網船(中川一政画)……水原秋桜子(四四)

戯曲 梅ごよみ(清水崑画)……丸木砂土(八六)

小説 ひと夜(小穴隆一画)……日比野士朗(一〇四)

小説 新諸(佐藤泰治画)……添田知道(一三八)

小説 女犯講(山本武夫画)……宮川曼魚(一二〇)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図(岩田専太郎画)……大佛次郎(一四八)

名作絵物語「角」風流懺法(高浜虚子作)……中沢弘光(五)

一つの転機(芸談録)……喜多村緑郎(九八)

東京おぼえ帳(万龍と照葉)……平山蘆江(二一六)

落語鑑賞 寢床……安藤鶴夫(一三〇)

社中いろ鉛筆……(一六二)

印刷いろ鉛筆……(一六二)

出版便り……(一一五)

苦楽探偵叢書発表……(一一八)

編集後記……(一六四)

〔総一六四頁 定価十五円〕

昭和二十二年四月一日発行

四月号 目次

表紙(舞妓)……錦木清方

目次(御殿山の夕桜)……山本武夫

扉絵……佐藤敬

口絵写真(偲縁江戸面影)……撮影・豊島素史

名作絵物語「角」にこりえ(樋口一葉作)……木村莊八(五)

白醉亭私語 土と人と……里見弴(六八)

俳諧評釈……柳田国男(一一四)

随筆「横」

嘘か実か……幸田成友(一一二)

食指談……佐藤垢石(一五五)

大谷内越山との奇縁……鈴木文史朗(一五八)

小説 くだん草紙(中沢弘光画)——百三十枚讀切!……小杉天外
(二二)

小説 山中を去る(猪熊弦一郎画)……室生犀星(一二二)

小説 新今昔物語「角」三人法師(吉村忠夫画)……菊池寛(二四二)

小説 愛宕の坊(江崎孝坪画)……加藤武雄(七二)

小説 奇遇(恩地孝四郎画)……中山義秀(一六〇)

小説 青犬亭(高岡徳太郎画)……東郷青児(一〇二)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図(岩田専太郎画)……大佛次郎
(一七四)

寄席特集「角」苦楽亭……構成・久保田万太郎(八五)

俳句「横」

永冬十句……前田普羅(八五)

ギヤマンの壺……長谷川かな女(一三七)

もも・さくら……萩原井泉水(一三八)

婦郷者の如く……中村草田男(一三九)

稲村崎の春……石塚知二(一四〇)

遺稿……中塚一碧楼(一四一)

東京おぼえ帳(伊藤御前の情話)……平山蘆江(二七〇)

読者告知板……(一八五)

社中日記……(一八六)

印刷いろ鉛筆……(一八七)

出版便り……(一八五)

編集後記……(一八八)

〔総一八八頁 定価二十円〕

昭和二十二年五月一日発行

五月号 目次

表紙(牡丹)……鏑木清方

目次(築地明石町)……山本武夫

扉絵……佐藤敬

口絵写真 関東の民間信仰……文・柳田国男／撮影・三木茂(一三)

白酔亭私語 棒ちぎり……里見弴(二二)

名作絵物語「角」今戸心中(広津柳浪作)……伊藤深水(五)

諸国噺「横」

根岸の里……寒川鼠骨(八五)

スムルゴス・ブウルド……渡辺紳一郎(八七)

大砲……小穴隆一(九〇)

おへんろ……萩原井泉水(九二)

女になった山猫……東郷青児(九五)

俳句 芝火・子猫……富安風生(三七)

小説 早春(長谷川春子画)……豊島与志雄(二六)

小説 新今昔物語「角」龍(吉村忠夫画)……菊池寛(三八)

小説 鑄掛松(木村莊八画)……白井喬二(九八)

小説 雨空(山本武夫画)……宮川曼魚(六〇)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図(岩田専太郎画)……大佛次郎(一一八)

短歌 春草だより……吉井勇(四四)

東京おぼえ帳(出会茶屋)……平山蘆江(一一〇)

色頁特集「角」新釈世界文芸大系……監修・浅井倉夫(六九)

落語鑑賞 明烏……安藤鶴夫(五〇)

聊斎志異 画壁(清水崑画)……訳・柴田天馬(一一四)

社中いろ鉛筆……(一三〇)

印刷いろ鉛筆……(一三〇)

読者告知板……(一三二)

苦楽句会……(六八)

出版便り……(五九)

編集後記……(一三二)

昭和二十二年六月一日発行

六月号 目次

表紙(花菖蒲)……鏑木清方

扉絵……佐藤敬

名作絵物語「角」羅生門(芥川龍之介作)……石井鶴三(一)

一石二鳥……鏑木清方(一一)

小説 金百両如来……長谷川伸(一四)

小説 楽園懐古……長与善郎(二六)

小説 不思議な書物……正宗白鳥(三七)

小説 新今昔物語「角」伊勢……菊池寛(五〇)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五八)

東京おぼえ帳(新派劇起る)……平山蘆江(五四)

俳句 近詠十句……高野素十(二五)

社中いろ鉛筆……(六四)

〔総一三三頁 定価二十円〕

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価十五円]

昭和二十二年七月一日発行

七月号 目次

表紙(あまのがは)……鏑木清方

扉絵……佐藤敬

詩「の」ベニス(アルフレッド・ド・ミュッセ)……訳・鈴木信太郎(一)

(続美人変遷史)粹の消長……木村莊八(五)

小説 音楽は尚「ほ」続きをり……高浜虚子(三〇)

小説 新今昔物語「角」馬上の美人……菊池寛(四六)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五六)

色頁特集「角」懐しの巴里祭……構成・辰野隆／鈴木信太郎／渡辺一夫(一三)

東京おぼえ帳(林家と春本)……平山蘆江(五二)

俳句 杜若……伊藤柏翠(四五)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価十五円]

昭和二十二年八月一日発行

八月号 目次

表紙(湯の宿)……鏑木清方

扉絵……佐藤敬

名作絵物語「角」牡丹灯籠(円朝作)……木村莊八(二)

グラフ 夏のうた……詩・堀口大學(九)

小説 予言……久生十蘭(一八)

小説 八幡の文反古……吉井勇(三〇)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五四)

東京おぼえ帳(化物屋敷)……平山蘆江(五〇)

西洋辻講釈「角」悪縁……安藤鶴夫(四二)

俳句 三国にて……京極杞陽(二九)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価二十円]

十月号 目次

昭和二十二年九月一日発行

九月号 目次

表紙(菊)……鎚木清方
扉絵……佐藤敬

表紙(神田祭)……鎚木清方

名作絵物語「角」三四郎(夏目漱石作)……田辺至(二)

扉絵……佐藤敬

グラフ 深秋競吟……(九)

名作絵物語「角」高野聖(泉鏡花作)……川端龍子(一)

小説 なつかしい無人島……佐藤春夫(一四)

小説 女性恐怖……正宗白鳥(二六)

小説 ひろひもの……林芙美子(三〇)

小説 道中する幽霊……長谷川伸(三六)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五六)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五六)

三つの掌篇「横」

翻訳 西遊記……柴田天馬(四六)

流水三大訓話……渡辺一夫(四〇)

ヒットラーとの約束……竹山道雄(四二)

色頁特集「角」苦楽館ビル……構成・永井龍男(九)

瑪利亞異聞……神西清(四四)

俳句 夜の秋……深川正一郎(三五)

東京おぼえ帳(雲右衛門哀史)……平山蘆江(五二)

社中いろ鉛筆……(六四)

落語鑑賞「角」素人鰻……安藤鶴夫(四六)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価二十円]

俳句 嵐峡にて……高浜年尾(三九)

昭和二十二年十月一日発行

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価二十円]

昭和二十二年十一月一日発行
十一月号 目次

表紙(錦繡の秋)…… 鏑木清方
扉絵…… 佐藤敬

名作絵物語「角」金色夜叉(尾崎紅葉作)…… 鏑木清方(二)

グラフ 年輪…… 撮影・石井幸之助(九)

小説 故郷…… 里見弴(三二)

小説 凱歌…… 加藤武雄(四六)

小説 山道…… 大佛次郎(五六)

色頁特集「角」すみだ川…… 構成・久保田万太郎(二七)

俳句 仲秋…… 水原秋桜子(四四)

俳句 枯色…… 山口誓子(四五)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価二十円]

昭和二十二年十二月一日発行

十二月号 目次

表紙(雪)…… 鏑木清方
扉絵…… 佐藤敬

名作絵物語「角」お艶殺し(谷崎潤一郎作)…… 中村岳陵(二)

小説 未亡人会議(遺作)…… 上司小剣(一〇)

小説 旧友…… 武者小路実篤(二八)

小説 田園浮世床…… 獅子文六(四〇)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図…… 大佛次郎(五八)

野暮と化け物…… 三田村鳶魚(二六)

東京おぼえ帳(梅常陸時代)…… 平山蘆江(五四)

落語鑑賞「角」笠碁…… 安藤鶴夫(四八)

大阪落語「角」菊江仏壇…… 渡辺均(三五)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

[総六四頁 定価二十円]

昭和二十三年一月一日発行

一月号 目次

表紙(松の内)…………… 鏑木清方
扉絵…………… 佐藤敬

名作絵物語「角」腕くらべ(永井荷風作)…………… 山下新太郎(一)

小説 司馬江漢…………… 宇野浩二(二六)

小説 結婚と葬式…………… 正宗白鳥(四二)

小説 歩上異象…………… 佐藤春夫(五二)

小説 毒の園…………… 白井喬二(六二)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図…………… 大佛次郎(七二)

色頁特集「角」憧れの碧瑠璃海岸へ…………… 構成・猪熊弦一郎／佐藤敬
／萩須高德(九)

絵物語「腕くらべ」解説…………… 河盛好蔵(五一)

社中いろ鉛筆…………… (八〇)

編集後記…………… (八〇)

〔総八〇頁 定価三十円〕

昭和二十三年二月一日発行

二月号 目次

表紙(王子詣)…………… 鏑木清方
目次…………… 山本武夫

名作絵物語「角」多情仏心(里見弴作)…………… 小穴隆一(三)

子燕…………… 川合玉堂(一二)

小説 さのさ節…………… 川口松太郎(四〇)

小説 星を恋ふ男…………… 田村泰次郎(二八)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図…………… 大佛次郎(二四)

俳句「横」

林檎とBlake, William…………… 飯田蛇笏(一一)

早梅…………… 中村汀女(三五)

東京おぼえ帳(源之助物語)…………… 平山蘆江(三六)

大阪落語「角」百年目…………… 渡辺均(二二)

絵物語「多情仏心」解説…………… 河盛好蔵(一一)

社中いろ鉛筆…………… (四八)

編集後記…………… (四八)

〔総四八頁 定価十八円〕

昭和二十三年三月一日発行
三月号 目次

表紙(春雨)……鏑木清方
目次……山本武夫

名作絵物語「角」春泥(久保田万太郎作)……石井鶴三(三)

小説 母の五十年忌……高浜虚子(二〇)

小説 賽ころ飯……長谷川伸(四四)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五八)

「見せもの」考……絵と文 木村莊八(一一)

東京おぼえ帳(市中騒動記)……平山蘆江(五四)

落語鑑賞「角」酢豆腐……安藤鶴夫(三六)

絵物語解説「春泥」について……河盛好蔵(一九)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

〔総六四頁 定価三十円〕

昭和二十三年四月一日発行

四月号 目次

表紙(吉野山)……鏑木清方
目次……山本武夫

名作絵物語「角」日本橋(泉鏡花作)……鏑木清方

小説 初神鳴……松本たかし(二八)

小説 ロミオ……水谷準(四二)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五六)

色頁特集「角」ボロヲダス・ダイジェスト……構成・浅井倉夫(一一)

東京おぼえ帳(浅草繁昌記)……平山蘆江(五二)

酔ひどれセレナーデ……(四〇)

絵物語解説「日本橋」について……河盛好蔵(二七)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

〔総六四頁 定価三十円〕

昭和二十三年五月一日発行

五月号 目次

表紙(菖蒲湯)……鏑木清方
目次……山本武夫

名作絵物語「角」春琴抄(谷崎潤一郎作)……和田三造(三)

色頁特集「角」京の春……構成・吉井勇(一一)

小説 貴族……久生十蘭(二八)

小説 風俗犯……白井喬二(三六)

小説 鞍馬天狗「角」新東京絵図……大佛次郎(五二)

短歌 寧楽晩春……吉野秀雄(二七)

東京おぼえ帳(芝居から劇場へ)……平山蘆江(四八)

絵物語解説「春琴抄」について……河盛好蔵(六三)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

〔総六四頁 定価三十円〕

昭和二十三年六月一日発行

六月号 目次

表紙(宇治の蜩)……鏑木清方

目次……山本武夫

名作絵物語「角」五重塔(幸田露伴作)……川端龍子(三)

小説 父馬琴(江崎孝坪画)……加藤武雄(一二)

小説 国技館(鈴木信太郎画)……尾崎士郎(二三)

小説 古い檜木(吉村忠夫画)……山本周五郎(三六)

小説 常夏の客(宮田重雄画)……中山義秀(五二)

いろいろと仏蘭西譚……洪沢秀雄(三二)

東京おぼえ帳(梅幸怪談)……平山蘆江(四八)

絵物語解説「五重塔」について……河盛好蔵(一一)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

〔総六四頁 定価三十五円〕

別冊・苦楽 昭和二十三年七月十日発行

涼風号 小説特集 目次

表紙……小穴隆一

目次……岩田専太郎

扉……佐藤敬

色頁特集 クラック万国博覧会……(五)

小説 小説は尚ほ続きをり(鏑木清方画)……高浜虚子(二四)

小説 二輪咲き(木村莊八画)……長田秀雄(二六)

小説 縁談(中西利雄画)……丹羽文雄(四〇)

小説 合歡の花咲く家(向井潤吉画)……今日出海(九四)

特別読物「角」夏芝居(木村莊八画)……折口信夫(六〇)

小説 実に泣いた話(脇田和画)……徳川夢声(七六)

小説 艶隠者(宮田重雄画)……城昌幸(八六)

百枚読切「角」丹前屏風(江崎孝坪画)……大佛次郎(一〇六)

世界粹談集「横」

裸体処女作……シヤブラン／矢野目源一訳(二四)

鼻騷動……ブランシユ／水谷準訳(三九)

風邪……モーバン／渋谷秀雄訳(五八)

賭……フェヴィエ／土岐雄三訳(七三)

仏蘭西昔噺……ユイートル／矢野目源一訳(九三)

霊媒……ミズー／水谷準訳(七四)

数取り……シレーヌ／渋谷秀雄訳(八四)

紐……デュフル／土岐雄三訳(一〇四)

〔総一四〇頁 定価七十円〕

表紙(箱庭)……鏑木清方
目次……佐藤敬

名作絵物語「角」ビュビュ・ド・モンパルナス……佐藤敬(一)

涼風怪談集「横」

怪異談手簿……長谷川伸(二八)

楡の枝……奥野信太郎(三〇)

銀杏返へしの怪……喜多村緑郎(三二)

K夫人と座禪……三宅正太郎(三四)

ペンの幽霊邸……渡辺紳一郎(三六)

挿画……木村莊八(二八)

俳句「横」

久米三汀……(二四)

久保田万太郎……(二五)

室生犀星……(二二)

滝井孝作……(二三)

吉屋信子……(二六)

永井東門居……(四〇)

石塚友二……(五三)

昭和二十三年八月一日発行

七・八月合併号 目次

小説 夜気(久保守画)……久保田万太郎(一〇)

小説 新雨月物語「角」奇情佳趣の世界(清水崑画)……佐藤春夫

(二〇)

小説 笑顔のお地藏様(鈴木信太郎画)……坪田讓治(三八)
小説 天国の話(岩田専太郎画)……村松梢風(五〇)

東京おぼえ帳(江戸小唄由来)……平山蘆江(四六)

絵物語解説「ビュビュ・ド・モンパルナツス」……河盛好蔵(二七)

社中いろ鉛筆……(六四)

編集後記……(六四)

〔総六四頁 定価三十五円〕

昭和二十三年九月一日発行

九月号 目次

表紙(芙蓉)……鏑木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」雁(森鷗外作)……木村莊八(二)

小説 かげろふ一休(岡本一平画)……岡本一平(二〇)

小説 他人のそら似(猪熊弦一郎画)……木々高太郎(二四)

小説 妙齡(中西利雄画)……室生犀星(四〇)

小説 島原の文反古(佐藤泰治画)……吉井勇(三六)

小説 自転車風景(御正伸画)……永井龍男(五六)

小説 隙間風(中村琢二画)……大佛次郎(二〇)

東京おぼえ帳(吉原叢書「話」)……平山蘆江(五二)

絵物語解説「雁」について……河盛好蔵(五一)

編集後記……(六八)

〔総六八頁 定価三十五円〕

昭和二十三年十月一日発行

十月号 目次

表紙(ふた昔)……鏑木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」蝙蝠の如く(自作自画)……有島生馬(二)

生き霊……野尻抱影(五七)

密告……河上徹太郎(六二)

おひとよし……三岸節子(二〇)

結婚一戒……神西清(一六)

蔵書票……丸木砂土(六七)

花……東郷青児(二二)

カット・石川滋彦

小説 壁画異聞(宮田重雄画)……松岡讓(二〇)

小説 殺生石(江崎孝坪画)……松本たかし(二四)

- 小説 ゆがんだ格子(裕伊之助画)……………ささきふさ(一三〇)
- 小説 温泉町の侠児(鈴木信太郎画)……………橋本英吉(四四)
- 小説 ぬくめ鳥(木村莊八画)……………平山蘆江(五四)
- 小説 新雨月物語「角」江上の賊(清水崑画)……………佐藤春夫(六〇)

繪物語解説「蝙蝠の如く」について……………河盛好蔵(四三)

編集後記……………(六八)

〔総六八頁 定価四十円〕

昭和二十三年十一月一日発行
十一月号 目次

表紙(雲)……………鏑木清方

目次……………佐藤敬

名作繪物語「角」虞美人草(夏日漱石作)……………小穴隆一(二)

小説 おもかげびと(吉村忠夫画)……………加藤武雄(六〇)

小説 三味線(木村莊八画)……………高田保(三〇)

小説 住吉一休(岡本一平画)……………遺稿 岡本一平(四四)

小説 火焰女(岩田専太郎画)……………海音寺潮五郎(二八)

小説 秋夕夢(佐藤敬画)……………大佛次郎(二〇)

粹譚 手袋(洪沢秀雄画)……………ピエール・ジロー(四二)

東京おぼえ帳(金錢出入控)……………平山蘆江(五六)

繪物語解説「虞美人草」について……………河盛好蔵(五五)

編集後記……………(六八)

〔総六八頁 定価四十五円〕

苦楽・臨時増刊 昭和二十三年十一月十日発行

目次

表紙……………岡田謙三

目次……………佐藤敬

書下し百枚傑作五人集「横」

誰でもない自分でもない(小磯良平画)……………岸田国土(三)

心の虹(内田巖画)……………石川達三(四四)

感性の秋(三岸節子画)……………丹羽文雄(一二〇)

助六(岩田専太郎画)……………白井喬二(八〇)

竹西兄弟(石井鶴三画)……………小杉天外(二八二)

〔総一九四頁 定価一〇〇円〕

昭和二十四年一月一日発行

一月号 目次

表紙(西鶴のお七)……………鏑木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」ボヴァリー夫人（フロベール作）……小磯良平（三）

読切一〇〇枚翻訳探偵小説「角」生首美人（宮田重雄画）……ボア

ゴベイ作／水谷準訳述（一九）

小説 虎松日誌（吉村忠夫画）……井伏鱒二（五〇）

小説 ロジエの手紙（佐藤敬画）……芹沢光治良（五八）

小説 平家船（石川滋彦画）……火野葦平（八四）

小説 童貞（佐藤泰治画）……今日出海（七五）

小説 蓮花観音（宮田重雄画）……田村泰次郎（二〇二）

小説 柘榴の庭（伊勢正義画）……奥野信太郎（二一〇）

小説 白い女（伊藤龍雄画）……大佛次郎（二二〇）

世相撫で斬り 対談……辰野隆・高田保（六六）

「ハイカラ」考（美男変遷史）……木村莊八（九四）

色頁特集「角」日本古典阿呆文庫……構成・浅井倉夫（二一）

絵物語解説「ボヴァリー夫人」について……河盛好蔵（二一九）

編集後記……（一二八）

昭和二十四年二月一日発行
二月号 目次

表紙（紅梅屋敷）……鍋木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」霧笛（大佛次郎作）……木村莊八（二）

扉・卵（コント）……（一一）

小説 二人席（裕伊之助画）……佐多稲子（一二）

小説 仇浪（小穴隆一画）……長田秀雄（二〇）

小説 きやんでえ譚（生沢朗画）……浜本浩（三七）

小説 想夫恋（佐藤泰治画）……鷺尾雨工（四六）

小説 父情（脇田和画）……土岐雄三（六二）

小説 新雨月物語「角」歎きの村（清水崑画）……佐藤春夫（七四）

小説 壺のアリヨシヤ（赤松俊子画）……トルストイ／米川正夫
訳（三〇）

落語鑑賞 心眼……安藤鶴夫（五六）

東京おぼえ帳（好況時代）……平山蘆江（七〇）

絵物語解説「霧笛」について……河盛好蔵（二九）

〔総一二八頁 定価八十円〕

編集後記……(八〇)

〔総八〇頁 定価五十五円〕

昭和二十四年三月一日発行

三月号 目次

表紙(堀川波の鼓)……鏑木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」阿部一族(森鷗外作)……石井鶴三(三)

扉・贈りもの(コント)……(一九)

小説 御苦勞様(小穴隆一画)……里見淳(二〇)

小説 虎落笛(木村莊八画)……吉井勇(六二)

小説 一番能(松野奏風画)……松本たかし(四二)

小説 ほう・ほけきよ(南政善画)……北畠八穂(三〇)

小説 新雨月物語「角」みな幻のみ(清水崑画)……佐藤春夫(七四)

続「ハイカラ」考(美男変遷史)……木村莊八(五二)

東京おぼえ帳(高輪の師匠)……平山蘆江(七〇)

色頁特集「角」クラック職業紹介所……構成・土岐雄三(一一)

絵物語解説「阿部一族」について……河盛好蔵(五一)

編集後記……(八二)

〔総八二頁 定価五十円〕

昭和二十四年四月一日発行

四月号 目次

表紙(草枕)……鏑木清方

目次……佐藤敬

名作絵物語「角」カルメン(杉捷夫訳)……プロスペル・メリメ(一)

扉・告白(コント)……(一七)

小説 菊富士時代(赤松俊子画)……広津和郎(一八)

小説 驢馬(向井潤吉画)……中里恒子(二八)

小説 一枚の写真(猪熊弦一郎画)……山口誓子(四四)

小説 風(木村莊八画)……宇野信夫(三六)

小説 百八煩惱(佐藤泰治画)……日比野士朗(六八)

小説 旗人の子(伊勢正義画)……村松梢風(八二)

色頁特集「角」食へば愉し(横山隆一画)……構成・古川緑波(九)

新訳西遊記 豚が路普請をした話「角」(宮田重雄画)……奥野信

太郎 (五六)

東京おぼえ帳 (異風変容録) ……平山蘆江 (七六)

絵物語解説「カルメン」について……河盛好蔵 (二七)

編集後記…… (九六)

[総九六頁 定価六十円]

昭和二十四年五月一日発行

五月号 目次

表紙 (高尾ざんげ) ……鏑木清方

目次 (いちご) ……佐藤敬

名作絵物語「角」細雪 (谷崎潤一郎作) ……中村貞以 (一)

扉・記念樹 (コント) …… (一七)

時代小説特集

小説 柳生の宿 (吉村忠夫画) ……白井喬二 (二八)

小説 菖蒲太刀 (江崎孝坪画) ……中山義秀 (六六)

読切五十枚「角」桔梗図 (中一弥画) ……邦枝完二 (四〇)

読切五十枚「角」悪四郎 (岩田専太郎画) ……長谷川伸 (八二)

明朗色頁「角」特集一九七九年版……構成・水谷準 (九)

実川延若論 (木村莊八画) ……釈迢空 (二八)

詩 鎧橋……野田宇太郎 (五六)

落語鑑賞 船徳……安藤鶴夫 (五八)

東京おぼえ帳 (今昔言葉の泉) ……平山蘆江 (七八)

絵物語解説「細雪」について……河盛好蔵 (三九)

編集後記…… (一〇〇)

[総一〇〇頁 定価六十円]

苦楽・臨時増刊 昭和二十四年五月二十日発行

目次

表紙……鏑木清方

目次……山本武夫

現代語訳「角」好色一代男 (太田聴雨画) ……里見淳 (一三)

名作絵物語「角」好色五人女……中村貞以 (五)

西鶴研究の資料……………内海幽水(一五六)
 西鶴の家族たち……………暉峻康隆(一六〇)
 西鶴の多面性……………片岡良一(一五八)

現代語訳「角」特選西鶴短篇集……………暉峻康隆「カットに「武」

只とる物は沢枯梗(西鶴俗つれづれ)……………(二三八)

人には棒振むし同前におもはれ(西鶴置土産)……………(一四二)

京にも思ふやうなる事なし(万の文反古)……………(一四四)

愁ひの中へ樽肴(武道伝来記)……………(一四七)

大晦日は合はぬ算用(西鶴諸国ばなし)……………(一五〇)

平太郎殿(世間胸算用)……………(一五二)

小説 西鶴と夕霧(神保朋世画)……………村松梢風(一二〇)

現代語訳「角」好色二代女(木村莊八画)……………吉井勇(一六三)

絵物語解説「好色五人女」について……………暉峻康隆(一二二)

〔総二三六頁 定価一五十円〕

昭和二十四年六月一日発行

六月号 目次

表紙(たけくらべ)……………鏑木清方

目次(猫)……………佐藤敬

名作絵物語「角」爛(徳田秋声作)……………木村莊八(三〇)

扉・鱈節(コント)……………(九)

小説 風祭り(猪熊弦一郎画)……………久生十蘭(一〇)

小説 男ぎらひ(南政善画)……………豊島与志雄(四四)

小説 放浪記(宮田重雄画)……………武林無想庵(五二)

小説 今にやるぞ(鈴木信太郎画)……………武者小路実篤(二二)

小説 新月物語「角」山中の女(清水崑画)……………佐藤春夫(六六)

小説 恋愛圏外(三岸節子画)……………石塚友二(七二)

小説 狸おやぢ(江崎孝坪画)……………加藤武雄(八六)

色頁特集「角」幸運の手紙(絵・杉浦幸雄)……………構成・高田保(一)

わが日わが夢「横」

楽屋ばなし……………大佛次郎(六二)

未来の夢……………辻二郎(六一)

夢の設計……………鏑木清方(六三)

銀座を歩く……………下村海南(六四)

わが「枕水亭」……………鈴木文史朗(六五)

東京おぼえ帳(長唄銘々伝)……………平山蘆江(八二)

絵物語解説「爛」について……………河盛好蔵(四二)

編集後記……………(一〇〇)

〔総一〇〇頁 定価六十円〕

苦楽・臨時増刊 昭和二十四年六月二十日発行
 都会小説特集号 目次

表紙……宮本三郎

目次……川端龍子

口絵……ヴァン・ドンゲン

グラビア・魅惑の季節……撮影・河合健之助(七)

戦後東京繁昌記「角」嗚呼わが愛する麴町……里見淳／絵・木村莊
 八(七〇)

随筆「横」

カツ・テキ・ハヤシ・キヤベツ巻……久保田万太郎(一一八)

小西湖……小絲源太郎(一二〇)

渋谷点描……奥野信太郎(一二四)

一〇〇枚読切「角」ある夫婦の歴史(猪熊弦一郎画)……岸田国士
 (一六)

翡翠の女……井上友一郎(八二)

ネロならねども……中河与一(九四)

エログロの街……浜本浩(五〇)

三枚の絵葉書……佐多稲子(一〇八)

夕風の巷……北条誠(一四〇)

群盗の街……龍胆寺雄(一八四)

女の黄昏……新田潤(一二八)

とんがり野蘇……中里恒子(六〇)

笹の扇……丸岡明(一五二)

ベルリンの一夜……小松太郎(一七四)

最初に捧げん……寺崎浩(一六三)

小説 続鎌倉夫人(中村琢二画)……久米正雄(一九六)

コント 都会・ア・ラ・カルト「横」

或る夜の出来事……矢野目源一(二〇六)

間(あひ)の宿……城昌幸(四八)

なめくぢ……菊岡久利(六八)

アパートの堅人……玉川一郎(二三八)

夜の鶯……藤浦洸(一七二)

挿絵「横」「コント」の下にレイアウト

碓伊之助・吉岡堅二

寺田竹雄・伊藤龍雄

岡田謙三・伊勢正義

佐藤敬・高沢圭一

脇田和・三芳悌吉

石川滋彦

絵と文「横」

柳の銀座……猪熊弦一郎(一五一)

味の無い町……木村莊八(一一七)

新宿記念碑裏……野口弥太郎(八一)

横浜の港……岡鹿之助(一八二)

上野……久保守(一二三)

洲崎風景……織田一磨(九三)

旧観音堂……三雲祥之助(一二七)

四条小橋……樋口富麻呂(五九)

神戸風景……田村孝之介(五七)

〔総二〇六頁 定価一五十円〕

昭和二十四年七月一日発行

七月号 目次

表紙(田舎源氏)……鏑木清方

目次(画室)……佐藤敬

グラビア 浴衣と女(撮影・林忠彦)……構成・山本武夫(一)

名作絵物語「角」魚玄機(森鷗外作)……小杉放庵(五)

扉・附添ひ(コント)……(二三)

小説 墓まゐり(小穴隆一画)……吉井勇(二六)

小説 カーネーションの蔭に(高沢圭一画)……中河与一(四七)

小説 恩人(吉村忠夫画)……松岡譲(五八)

小説 董一輪(伊勢正義画)……西条八十(三六)

小説 肖像画(三雲祥之助画)……青柳瑞穂(七二)

小説 小林清親(木村莊八画)……村松梢風(八四)

小咄の作り方と鑑賞座談会——課題小咄競作コンクール……(一四)

わが日わが夢「横」

近況……東久邇稔彦(六八)

小さき夢想……小泉信三(六八)

夢……中川一政(六九)

椿……中村吉右衛門(七〇)

わが一日……高原四郎(七〇)

烟よ烟……奥野信太郎(七一)

東京おぼえ帳(お好み甘味尽)……平山蘆江(八〇)

絵物語解説「魚玄機」について……河盛好蔵(九九)

編集後記……(一〇〇)

〔総一〇〇頁 定価六十円〕

昭和二十四年八月一日発行

八月号 目次

表紙(高野聖)……鏑木清方

目次(絵)……佐藤敬

名作絵物語「角」地獄変（芥川龍之介作）……吉村忠夫（二）

東京おぼえ帳（たれぎだ物語）……平山蘆江（八四）

扉・余燼（コント）……（九）

絵物語解説「地獄変について」……河盛好蔵（九九）

六十枚読切!!「角」陽気な客（中村琢三画）……山本周五郎（二〇）

編集後記……（二〇〇）

〔総一〇〇頁 定価六十円〕

小説 街上より（生沢朗画）……ささきふさ（四四）

小説 生ける人形（伊藤龍雄画）……横溝正史（三六）

小説 箱書（太田三郎画）……正木不如丘（五二）

苦楽・臨時増刊 昭和二十四年八月二十日発行

長編読切「角」世話講談特集号 目次

小説 文士録（木村莊八画）……福田清人（六六）

小説 勲章と三人（三芳悌吉画）……添田知道（七六）

小説 老鴛鴦（宮田重雄画）……火野葦平（八八）

表紙……岩田専太郎

目次……山本武夫

わが日わが夢「横」

蟻……川合玉堂（六〇）

多色刷絵物語「角」小猿七之助……木村莊八（五）

戦争と平和……小林秀雄（六〇）

幸福の書物……金森徳次郎（六一）

二五〇枚読切講談 天保六花撰（岩田専太郎画）……神田伯龍（九）

宿賃……佐藤垢石（六一）

取引所開く……木村莊八（六二）

寄席の夕立……釈迢空（一〇四）

迎賓館……中村竹四郎（六三）

浅葱刷……吉井勇（一〇六）

東京の生氣……飯田蛇笏（六四）

泥棒伯円……三田村鳶魚（一〇八）

猫……石川欣一（六四）

寄席と縁日……平山蘆江（一一〇）

冷汗三斗……柴田天馬（六五）

一〇〇枚読切講談「角」安政三組盃（今村恒美画）……悟道軒円玉

落語鑑賞 愛宕山……安藤鶴夫（二九）

（一二二）

落語鑑賞 百川……安藤鶴夫(一一二)

伯龍の芸と人―鼎談―(出席者)久保田万太郎／小島政二郎／安藤鶴夫……(一六四)

遺稿・旅百話……神田伯龍(一六〇)

御守殿御滝小猿七之助「角」渡小舟橋間白浪(中一弥画)……神田伯龍(一七四)

〔総二一六頁 定価百五十円〕

昭和二十四年九月一日発行
九月号 目次

表紙……宮本三郎
目次……小穴隆一

グラビア 白鳥のごとく……撮影・大東元(一)
グラビア お馴染作家カメラ訪問「角」獅子文六氏の巻……撮影・鈴木敏雄(六)

扉・生ビール(コント)……(一七)

小説 奇人脱哉(若山為三画)……志賀直哉(一八)
小説 インテリの妻(佐藤泰治画)……平林たい子(五四)

小説 雑兵(江崎孝坪画)……尾崎士郎(二六)

小説 江戸紫(清水三重三画)……北条誠(三六)

小説 新雨月物語「角」風とり島(清水崑画)……佐藤春夫(七〇)

小説 色模様握御寿司(宮田重雄画)……徳川夢声(七八)

小説 新かぐや姫(清水崑画)……丸木砂土(六一)

小説 奏鳴曲(佐藤敬画)……吉屋信子(九〇)

わが日わが夢「横」

二人女王……日夏耿之介(六六)

外人の日本の見かた……有島生馬(六六)

茶から香へ……馬場恒吾(六七)

蛸あげ……野尻抱影(六八)

孫の手……富安風生(六九)

本朝画人伝 大蘇芳年……村松梢風(四四)

色頁特集 世界の酒……構成・獅子文六(九)

執筆者 徳川夢声・辰野隆・兼常清佐・石川欣一・与謝野秀・藤原義江／米川正夫・三雲祥之助・奥野信太郎・今日出海・獅子文六

東京おぼえ帳(情炎恋火録)……平山蘆江(八六)

編集後記……(一〇四)

〔総一〇四頁 定価七十円〕

「小説界」総目次

概略

【発行期間・総冊数】昭和二十三年六月～昭和二十五年一月・全十四冊（増刊号含む）

【刊行頻度・判型】月刊・A5判（増刊号はB5判）

【編集兼発行人】北島宗人

【発行所】小説界社 東京都中央区銀座西八ノ四

【印刷人】印刷人は創刊号（昭和二十三年六月）から第二巻第六号（昭和二十四年十一月）までは小野総次、増刊小説界第二号（昭和二十五年一月）が小松弘一、小説界臨時増刊（昭和二十五年一月）が山本初三となっている。

【印刷所】印刷所は創刊号（昭和二十三年六月）から第二巻第六号（昭和二十四年十一月）までは中越印刷株式会社（東京都目黒区上目黒三ノ一九〇八）、増刊小説界第二号（昭和二十五年一月）および小説界臨時増刊（昭和二十五年一月）が山菱印刷株式会社（東京都中央区日本橋富沢町五）となっている。（創刊号（昭和二十三年六月）から第二巻第五号（昭和二十四年八月）までは配給元が日本出版配給株式会社となっているが、以後廃刊まで配給元の記載なし）

【概要】「小説界」は昭和二十三年六月から昭和二十六年一月までのおよそ一年半の間、計十四冊発行された中間小説誌である。編集者兼発行人である北島宗人は元「改造」編集長で、北島の編集長時代は昭和二十一年に限られるが、当時の「改造」最終ページ「編集後記」に北島の名前を見ることが出来る。昭和二十二年一月号の「改造」の編集委員に北島の名前がないことから、昭和二十一年の後半期に改造社を去ったと推測することが出来る。「小説界」第一巻第一号の「後記」では「昨冬以来の準備ようやく新緑爽涼の机辺に「小説界」復刊第一号を贈る」とあることから、北島が「小説界」に関わり始めたのは改造社を去った一年後の昭和二十二年の冬からであったと考えられる。この時期のことについて北島自身が『雑誌「改造」の四十年』（一九七七年五月、光和堂）で「編集長時代の思い出」として語っているが、この時の北島の肩書きは「映画プロデューサー・共同製作社代表」である。

「小説界」の実質創刊号であった第一巻第一号が「海光」復刊号であるという点については復刊になったという「海光」を含め詳しいことは分からない。ただし第一巻第二号の「後記」で「特に一切の既得権と地盤を持たぬ「小説界」の如き新発足誌の前途は今後愈々困難の度を深めてゆくものと思ふ」と記されており、復刊した雑誌にもかかわらず「既得権と地盤を持たぬ」といった表現や、自らを「新発足誌」と規定している点は「復刊」という字句と矛盾を来しているとも思われる。現在「海光」というタイトルの雑誌を国立国会図書館プランゲ文庫内に二冊確認できるが、どちらも「小説界」と繋がるような要素を見いだし得ない。しかし、この内「小説界」と刊行時期の重ならない油津短歌会の短歌同人誌「海光」から、用

紙割り当てを得るためにその雑誌の権利を買ったのではないかと推測されるが、油津短歌会の「海光」自体が終刊時期を含め不明な点が多く、推測の域を出ない。

雑誌の内容は第一巻第一号「後記」に「徒らなる高踏を排し、低劣なるアユを斥けつつ新しき日本文学の真の基盤を大衆のうちに確立するために微力をつくしたいと思ふ」とあり、また第一巻第五号「編集後記」に「純文学と称しては徒らに孤高にやせて魅力を失ひ、他方大衆文学と称しては墮落目を覆はしめるに至つた最大の原因は、まさにこの愚劣な区分けにあつた。／「小説界」は具体的な編集の上で、徹底的にこの愚劣な区分けを取り払ひつゝ、「健康で明るく豊かな」日本文学を生み出す努力を続けたい」とあるように、中間小説誌一般に見られる理念を共有している。詳しく見れば谷崎潤一郎や久米正雄といったベテラン作家から、丹羽文雄、舟橋聖一といった中間小説誌常連の作家、中村八朗、松下達夫、埴英夫、榛葉英治といった新人作家までの小説を配し、また表紙画家として梅原龍三郎、安井曾太郎、寺田竹雄などを用い、堅実な中間小説誌を目指していた。こうした点は先行する中間小説誌「日本小説」や「小説新潮」が参考になっていると思われる。発行期間を通じての大きな話題としては中村八朗の「桑門の街」(第二巻第一号)が第二十一回芥川賞、直木賞それぞれの候補作品となつたことが挙げられる。

終刊に関しては詳しいことは分からないものの、第二巻第六号「編集後記」に「本誌は、刊行が遅れて読者諸賢に御迷惑をおかけしてしまつたが、日配の業務指定より、その後の出版配給機構の民主化としての、配給機構の整備を見るに及んで、創刊以来の宿願に対し

て愈々前進出来る確信を得た」とあることから、昭和二十四年の日本出版配給閉鎖指定に関わるものと考えられる。「小説界」の実質最終号となつた「小説界臨時増刊」は、それまで雑誌に掲載された小説のアンソロジーとなつており、これもまた「日本小説」などに見られたものである。

第一巻第一号¹⁾ 昭和二十三年六月一日発行
復刊号 目次

聖なる人々……石坂洋次郎(二九)

雨なす石……舟橋聖一(四三)

遅日……獅子文六(五三)

私版金瓶梅(第一回)……丹羽文雄(六三)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

風流新百話(第二話／第十一話)……鈴木信太郎／渡辺一夫訳
(一一)

批評的漫歩……(一八)

映画と文学の間……中野好夫(一一)

菊池寛と私……久米正雄(二〇)

偉大なる私生児……阿部知二(三)

表紙原画・梅原龍三郎

カット・川端龍子／小穴隆一

(1) 奥付に「海光改題」とある。

〔総七十二頁・定価三十五円〕

八月号 目次

小説〔横〕

赤瓢箪……火野葦平(一)

仮装……船山馨(一二)

悲しきユネスコ……芹沢光治良(二四)

私版金瓶梅(第三回)……丹羽文雄(三一)

新人の風土……福田恒存(四五)

芥川龍之介と五十銭銀貨……小穴隆一(四〇)

耳目の散歩……(三八)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

風流新百話(第一話)……渡辺一夫訳(三二)

表紙原画・梅原龍三郎 表紙構成・広本森雄

装画・木村莊八・小穴隆一・鈴木信太郎・佐藤敬・伊勢正義

〔総六十頁・定価三十五円〕

第一卷第四号 昭和二十三年十月一日発行

秋季特大号²⁾ 目次

情婦……田村泰次郎(五)

流年……梅崎春生(一五)

第一卷第二号 昭和二十三年七月一日発行
七月号 目次

越冬記……谷崎潤一郎(一)

悪文礼讃……福原麟太郎(一一)

阿茶羅国記……徳川夢声(二八)

耳目の散歩……(二四)

森の牢獄……阿部知二(二六)

好色……三島由紀夫(三五)

女客……上林暁(四四)

私版金瓶梅(第二回)……丹羽文雄(五二)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

風流新百話(第六話)……鈴木信太郎訳(一四)

表紙原画・梅原龍三郎

表紙構成・広本森雄

カット・川端龍子・岡鹿之助／小穴隆一

〔総六十六頁・定価三十五円〕

第一卷第三号 昭和二十三年八月一日発行

恋愛神話……藤原審爾(二六)

妻帰る……新田潤(四三)

神聖娼婦……井上友一郎(五五)

私版金瓶梅……丹羽文雄(七〇)

私の鳥籠……井伏鱒二(三七)

ホケについて……獅子文六(四〇)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

風流新百話……鈴木信太郎／渡辺一夫訳(二八)^③

戦後作家素描

梅崎春生・椎名麟三……清水崑(二四)

耳目の散歩……(八〇)

雑記帳……(二三)／(七九)

芭蕉 第一回……小島政二郎(九一)

表紙原画・梅原龍三郎

表紙構成・広本森雄

装画・川端龍子・木村莊八・佐藤敬・花森安治／小穴隆一・岡鹿之助・寺田竹雄・高森夜江

〔総一〇八頁・定価七十円〕

(2) 奥付では「九・十合併号」と記される。「月」は脱字。
(3) 「八二」の誤植。

第一巻第五号 昭和二十三年十二月一日発行

小説と読物特集号 目次

好色家のいろいろ……佐藤春夫(五)

その前夜……佐竹龍夫(九)

苦笑の前後……武田泰淳(二六)

夜の眼……北条誠(三六)

椰子の実……林芙美子(四六)

監督の夢・作家の夢 対談……岩田豊雄 吉村公三郎(五六)

戦後作家素描

中村真一郎・野間宏……清水崑(五四)

陛下は女性にましませば……橘外男(九五)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

乗りかへた亭主殿……鈴木信太郎「訳」脱字(八八)

芭蕉……小島政二郎(六八)

表紙原画・梅原龍三郎

表紙構成・広本森雄

装画・小穴隆一・寺田竹雄・今村寅士・花森安治／麻生三郎・脇田和・高森夜江

〔総一一六頁・定価七十五円〕

第二巻第一号 昭和二十四年二月一日発行

早春特大号⁽⁴⁾ 目次

部屋……丹羽文雄(五)

靴と食欲……大岡昇平(七〇)

火花……大佛次郎(九四)

鬼哭……駒田信二(八〇)

子規……邦枝完二(一一四)

桑門の街(百十枚)……中村八朗(二二)

一夜を……室生犀星(五四)

じれった結び……小島政二郎(一〇五)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

武装した寝とられ男……鈴木信太郎

後衛の馬力屋……渡辺一夫 (九九)

表紙原画・林重義

表紙構成・広本森雄

装画・猪熊弦一郎・吉岡憲・麻生三郎／高森夜江・脇田和・広本森雄

(4) 奥付では「一・二月合併号」と記されている。〔総一二八頁・定価八十円〕

第二卷第二号 昭和二十四年四月一日発行
春季特大号⁽⁵⁾ 目次

或る指輪の歴史 第一回……久米正雄(五二)

女の懸命……上林暁(二)

日本無頼派……深田久弥(八四)

絵の中の女……藤原審爾(九)

喜劇……中里恒子(四三)

白痴の愛……多田裕計(九五)

花のいのち……真杉静枝(二二)

開票日……平林たい子(三二)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

お腹と背中で担ぐ女の話／亭主医者……鈴木信太郎訳(三四)

表紙原画・安井曾太郎

表紙校正・広本森雄

目次カット・伊藤廉

装画・岡田謙三・岡鹿之助・寺田竹雄・伊勢正義／栗原信・池辺一郎・高森夜江

(5) 奥付では「三・四月合併号」と記されている。〔総一〇四頁・定価七十円〕

増刊小説界第一号 昭和二十四年四月一日発行
大衆小説春季特集号⁽⁶⁾ 目次

美麗口絵「角」鞍馬天狗……齋藤英朋 画

豪華版五色刷「角」一枚看板(堂々百枚)「角」……小島政二郎

／山本武夫画(二)

(恋愛小説)「角」激情の一夜……田村泰次郎

／寺田竹雄画(二〇)

(怪奇小説)「角」元禄振矩師……角田喜久雄

／木俣清史画(三八)

(風刺小説)「角」悪の花束……中野実

／筒井直枝画(四六)

(大阪哀話)「角」巡航船前後……長谷川幸延

／矢島健三画(五一)

(純愛小説)「角」物云わぬ唇……加藤武雄

／寺田竹雄画(五六)

(任侠小説)「角」とろ安の一生……子母沢寛

／木内廣画(六七)

(爆笑小説)「角」好漢奇癖あり……獅子文六

／田代光画(二五)

決定版「横」鞍馬天狗(長篇読切)「角」……大佛次郎

／鱒崎英朋 画(七二)

表紙・岩田専太郎 目次・清水崑「仙人の恋」

小説界娯楽場

御存じですか?(知識の泉)……(七六)(八三)(九二)(九七)

(九九)

私は誰でせうか?……(四四)(七一)

マンガ……塩田英二郎(六四)・村上しげる(四五)・横山泰三(五〇)

(五七)(六〇)(六五)

特選・江戸小ばなし(浅草亭主人)……(八)(一四)(一九)(二四)

(六六)(八六)

文明開化風俗異変……(二九)(三七)

隠居大いに喋る(女の顔と心に関する俚諺)……(五五)(六六)

(6) 奥付では「春季大衆小説特集号」と記されている。
〔総一〇〇頁・定価八十円〕

第二卷第三号 昭和二十四年六月一日発行

六月号 目次

日向仕事……里見弴(一)

第二の女……林房雄(四七)

釣師……耕治人(九)

室内楽……川上喜久子(八九)

薬師……松下達夫(七一)

偽善者……張赫宙(二三)

或る指輪の歴史……久米正雄(九九)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

鰻のパテ／盲の目つき……鈴木信太郎訳(六四)

表紙原画・梅原龍三郎

表紙構成……広本森雄

目次カット……高沢圭一

総画・野口弥太郎・清水崑・広本森雄／西村愿定・寺田竹雄

(7) 本文には「私版「金瓶梅」李瓶児夫人の巻」〔総一二二頁・定価七十円〕と副題が記されている。

第二巻第四号 昭和二十四年七月一日発行

七月号 目次

敗将……火野葦平 (七九)

金の明暗……新田潤 (五)

人生無宿……北条誠 (二六)

青春問答……外村繁 (四五)

ソドムの族……埴英夫 (六四)

烈日……榛葉英治 (一四)

随筆二題

夏の釣悦……佐藤垢石

(三八)

木蓮随想……小絲源太郎

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

半端の長靴／接吻の貞操……鈴木信太郎訳 (五八)

梅原・安井自選展を見て……本郷新 (三六)

雑記帳…… (一三)

表紙・寺田竹雄

目次・西尾善積

装画・川端龍子・関口俊吾・池辺一郎／小絲源太郎・寺田竹雄・木内広／小穴隆一・広本森雄・富山妙子

〔総九六頁・定価六十円〕

第二巻第五号 昭和二十四年八月一日発行

八月号 目次

つたない反抗……芹沢光治良 (五)

香水プール……豊田三郎 (九〇)

梨の花……田宮虎彦 (一六)

陽子の環境……直井潔 (三八)

白い十字架／竹久夢二の恋……立野信之 (二六)

銀の金槌 日本艶笑滑稽通信「角」……火野葦平 (五六)

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

三人坊主／鼻説……鈴木信太郎訳 (八四)

座談会「横」青春回顧……谷崎潤一郎／武林無想庵／正宗白鳥 (六八)

表紙・寺田竹雄

目次・高橋忠弥

装画・宮田重雄・岡鹿之助・木内広／佐藤敬・吉岡憲・榎原祥太郎

〔総一〇〇頁・定価六十円〕

第二卷第六号 昭和二十四年十一月一日発行
秋季特大号 目次

紋章家族 百二十枚……中村八朗(九)

くさかげろふ……藤原審爾(一二八)

悲しい魂⁸……張赫宙(四〇)

流木……大谷藤子(一一七)

娼婦哀傷……森田素夫(一〇六)

敗将⁹……火野葦平(九一)

今様一代女 七十枚……田中英光(六九)

部落解放運動と「破戒」……野間宏

極く短かい小説の効用……三島由紀夫

サン・ヌウヴェル・ヌウヴェル

しびれた男の話……鈴木信太郎(六四)

雑記帳……(一一六)

グラビヤ 里見弴・高見順・上林暁・中村八朗……撮影・山村一平

表紙・寺田竹雄

目次カット・石川滋彦

装画・岡鹿之助・木内広・宮永岳彦・高森夜江／吉岡憲・堀越鬼・

勝本富士雄

〔総一三六頁・定価七十五円〕
(8) 本文には「偽善者」第二編」と副題が付されている。

(9) 本文には「承前」と記されている。

増刊小説界 第二号 昭和二十五年一月一日発行
読切傑作小説特集号¹⁰ 目次

(口絵) 世界の一人

(口絵) 人肉の市

(二色刷マンガ) これツ切り読物集……新漫画派同人(九)

世界の一人(広本森雄画)……黒木八郎(一三)

絶対に面白い読切小説特集

(開化小説) [角] 素顔(高森夜江画)……大佛次郎(四三)

(怪奇小説) [角] 情怨の丘(村田恭彬画)……安田樹四郎(三三)

(仁侠小説) [角] 平手造酒(高森夜江画)……陸直次郎(二四)

(好色綺譚) [角] 回春夜話……中野江漢(六八)

(都会小説) [角] 銀座女色(堀越鬼画)……北条誠(六〇)

マンガ……船田寿雄(二三)(四二)(六七)……和田義三(七一)

風流滑稽譚(ふらんす艶笑話集)……(四一)(五〇)(五九)(八四)

映画スター楽屋話……(二二)(六七)

人肉市場(山本太郎画)……中島幸三郎(七四)

表紙・中尾進

目次絵・広本森雄

(10) 奥付では「新春傑作読物特集号」と記されている。
〔総九〇頁・定価八十円〕

小説界臨時増刊 昭和二十五年一月十日発行
小説二十人集 目次

- 聖なる人々……石坂洋次郎(五)
- 神聖娼婦……井上友一郎(一九)
- 情婦……田村泰次郎(三四)
- 森の牢獄……阿部知二(一七九)
- 流年……梅崎春生(一一一)
- 殉教……三島由紀夫(一三八)
- 恋愛神話……藤原審爾(一〇〇)
- 夜の眼……北条誠(九〇)
- 烈日……榛葉英治(一五七)
- 仮装……船山馨(九四)
- 日本無頼派……深田久弥(七九)
- 妻帰る……新田潤(六七)
- 花のいのち……真杉静枝(一二〇)
- 白痴の愛……多田裕計(一四七)
- 赤瓢箪……火野葦平(五六)
- 悲しきユネスコ……芹沢光治良(一三〇)
- 遅日……獅子文六(一六九)
- 女の懸命……上林暁(一八八)

火花……大佛次郎(一九六)

部屋……丹羽文雄(二〇一)

表紙・高井貞二

目次カット・伊藤康「廉の誤植か」

〔総二一六頁・定価九十五円〕

付記 なお、本「史料紹介」は、科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)) 課題番号二四五二〇二〇五)の助成を受けた研究成果の一つである。